

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 十文字学園

## (2) 大学名

十文字学園女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒352-8510  
埼玉県新座市菅沢2-1-28

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ジュウモンジ カズオ) 十文字 一夫 (昭和62年5月)		
学長	(シムラ フミオ) 志村 二三夫 (平成29年4月)		
副学長 兼 学長補佐	(ワタイ マサヤス) 綿井 雅康 (平成29年4月)		
副学長	(アダチ カズヒサ) 安達 一寿 (平成31年4月)		
	(オノ ユウジロウ) 小野 裕次郎 (平成31年4月)	(イマイ シン) 今井 伸 (令和5年4月)	小野裕次郎副学長 R5.3.31付け任期満了による交代(5)
	(ヨシダ トオル) 吉田 亨 (令和2年4月)	(ホシノ アツコ) 星野 敦子 (令和5年4月)	吉田亨副学長R5.3.31付け任期満了による交代(5)
学部長	【教育人文学部】 <幼児教育学科> (ヤマダ ヨウコ) 山田 陽子 (令和2年4月)		
学科長	(コバヤシ ミノル) 小林 実 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え直し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育人文学部 文芸文化学科 学士(文学)	文学関係	4年	70人	2年次 0人 3年次 5人 4年次 0人	280人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	70人 70 [若干名]	—人 (—) [—]	70人 70 [若干名]	—人 (—) [—]	70人 70 [若干名]	—人 (—) [—]	70人 70 [若干名]	—人 (—) [—]	1.09倍	—	—	—	
志願者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	374 [3]	(—) [—]	236 [—]	(—) [—]	145 [—]	(—) [—]	135 [1]	(—) [—]					
受験者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	340 [3]	(—) [—]	215 [—]	(—) [—]	134 [—]	(—) [—]	128 [1]	(—) [—]					
合格者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	141 [2]	(—) [—]	143 [—]	(—) [—]	127 [—]	(—) [—]	109 [1]	(—) [—]					
B 入学者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	101 [2]	(—) [—]	82 [—]	(—) [—]	70 [—]	(—) [—]	54 [1]	(—) [—]					
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	1.44	—	1.17	—	1.00	—	0.77	—					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次					101 [ 2 ] ( - )	— [ - ] ( - )	82 [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	70 [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	54 [ 1 ] ( - )	— [ - ] ( - )	令和5年度3年次編入生4名	
2年次								103 [ 2 ] ( - )	— [ - ] ( - )	78 [ - ] ( - )	— [ - ] ( - )	66 [ - ] ( - )		— [ - ] ( - )
3年次										97 [ 2 ] ( - )	— [ - ] ( - )	81 [ 4 ] ( - )		— [ - ] ( - )
4年次												91 [ 1 ] ( - )		— [ - ] ( - )
計	[   ] (   )	[   ] (   )	[   ] (   )	[   ] (   )	101 [ 2 ] ( - )	— [ - ] ( - )	185 [ 2 ] ( - )	— [ - ] ( - )	245 [ 1 ] ( - )	— [ - ] ( - )	292 [ 6 ] ( - )	— [ - ] ( - )		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [   ]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ (   )内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	101 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	185 人	11 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	6 人	1 人	除籍(2)、学力不足(1)、学生個人の心身に関する事情(1)、修学意欲の低下(1)、その他(1)
			令和3年度	5 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1)、他の教育機関への入学(1)、修学意欲の低下(2)、その他(1)
令和4年度	245 人	12 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	6 人	0 人	学力不振(1)、経済的理由(2)、修学意欲の低下(1)、病気療養(1)、その他(1)
			令和3年度	2 人	0 人	修学意欲の低下(1)、病気療養(1)
			令和4年度	4 人	0 人	経済的理由(1)、修学意欲の低下(1)、進路変更(1)、病気療養(1)
令和5年度	292 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合計		23 人		23 人	1 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{101} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{11}{185} = \boxed{5.94} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{12}{245} = \boxed{4.89} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{292} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<教育人文学部 文芸文化学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ゼミナール 共通科目	入門ゼミナール	1前	2			3	1	1				
	コミュニケーション演習	1前・後	1			1	1					4
	読書入門ゼミナール	1・2・3・4後	2			2	2	1				12
	課題解決ゼミナール	2・3前・後	2									2
	総合ゼミナール	3・4前・後	2									2
共通科目 共通科目	地域で学ぶ	1・2・3・4前・後	2			1						2
	地域と人間生活	2・3・4前・後	2									6
	人間関係とコミュニケーション	1・2・3・4後	2									2
	人間理解ワークショップ	2・3・4前・後	2			1						3
	総合科目	1・2・3・4前・後	2									1
	自主社会活動	1・2・3・4前・後	1			1						1
女性 共通科目 女性を生きる	キャリアデザインとライフプラン	1前・後	2									2
	リーガルリテラシー	1前・後	2									1
	ジェンダーリテラシー	1前・後	2									1
	子育てと環境	1前・後	2									4
	女性と健康	1前・後	2									1
	女性の心と身体	1・2・3前・後	2									2
	食の科学	2・3前・後	2									1
	歴史のなかの女性	2・3前・後	2									1
	芸術を読みとる	2・3前・後	2			1						
社会 共通科目 社会に生きる	グローバル社会	1前・後	2				1					
	ネットワーク社会	1前・後	2									1
	共生社会入門	1前・後	2									1
	多様性と倫理	1前・後	2									1
	持続可能な社会	1前・後	2									1
	くらしのなかの日本国憲法	1・2・3前・後	2									3
	ボランティア論	1・2・3前・後	2									1
	災害と社会	2・3前・後	2									1
	21世紀型の教育	2・3前・後	2									1
共通 保健 科目 目育	身体運動Ⅰ	1・2・3・4前	1									1
	身体運動Ⅱ	1・2・3・4後	1									12
共通 情報 科目 目理	情報処理演習Ⅰ	1前	1									2
	情報処理演習Ⅱ	1・2・3・4後	1									1

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ゼミナール 共通科目	入門ゼミナール	1前	2			3	2	2				
	コミュニケーション演習	1前・後	1			0	0	0				2
	読書入門ゼミナール	1・2・3・4後	2			0	0	1				9
	課題解決ゼミナール	2・3前・後	2				1					2
	総合ゼミナール	3・4前・後	2									4
共通科目 共通科目	地域で学ぶ	1・2・3・4前・後	2									2
	地域と人間生活	2・3・4前・後	2									10
	人間関係とコミュニケーション	1・2・3・4後	2									2
	人間理解ワークショップ	2・3・4前・後	2			1						5
	総合科目	1・2・3・4前・後	2				0					9
	自主社会活動	1・2・3・4前・後	1			1						1
女性 共通科目 女性を生きる	キャリアデザインとライフプラン	1前・後	2									2
	リーガルリテラシー	1前・後	2									1
	ジェンダーリテラシー	1前・後	2									1
	子育てと環境	1前・後	2									4
	女性と健康	1前・後	2									2
	女性の心と身体	1・2・3前・後	2									3
	食の科学	2・3前・後	2									4
	歴史のなかの女性	2・3前・後	2									1
	芸術を読みとる	2・3前	2			0		1				
社会 共通科目 社会に生きる	グローバル社会	1前・後	2				1	1				
	ネットワーク社会	1前・後	2									1
	共生社会入門	1前・後	2									1
	多様性と倫理	1前・後	2									1
	持続可能な社会	1前・後	2									1
	くらしのなかの日本国憲法	1・2・3後	2									1
	ボランティア論	1・2・3前・後	2									1
	災害と社会	2・3前・後	2									1
	21世紀型の教育	2・3前・後	2									2
共通 保健 科目 目育	身体運動Ⅰ	1・2・3・4前	1									1
	身体運動Ⅱ	1・2・3・4後	1									14
共通 情報 科目 目理	情報処理演習Ⅰ	1前	1									1
	情報処理演習Ⅱ	1・2・3・4後	1									1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語（基礎科目） 共通科目	英語 I a	1前		1							2
	英語 I b	1後		1							1
	英語 II a	2・3・4前		1							1
	英語 II b	2・3・4後		1							1
	中国語 Ia	1前		1							2
	中国語 Ib	1後		1							2
	中国語 II a	2・3・4前		1							2
	中国語 II b	2・3・4後		1							2
	朝鮮語 Ia	1前		1							1
	朝鮮語 Ib	1後		1							1
	フランス語 Ia	1前		1							1
フランス語 Ib	1後		1							1	
海外語学研修	1・2・3・4前		1							1	
外国語目的別科目 共通科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前		1		1					
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後		1		1					
	英語コミュニケーション発展a	3・4前		1		1					
	英語コミュニケーション発展b	3・4後		1		1					
	英語コミュニケーション応用	1・2・3・4前・後		2							1
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後		2							2
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4後		2							2
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4後		2							1
	ビジネス英語	2・3・4後		2		1					
	映画・ドラマ英語	2・3・4後		2							1
	インターネット英語	2・3・4後		2							1
	メディア英語	2・3・4前		2							1
	TOEIC対策講座	1・2・3・4後		2							1
中国語試験対策講座	1・2・3・4前		2							1	
日本語検定対策講座	1・2・3・4前・後		2			1					
日本語（非母国語者向） 共通科目	総合日本語 I a	1前		1							1
	総合日本語 I b	1後		1				1			
	総合日本語 II a	2前		1							1
	総合日本語 II b	2後		1					1		
	総合日本語 III a	3・4前		1							1
	総合日本語 III b	3・4後		1						1	
	日本語表現技術 I	1・2・3・4前		1				1			
	日本語表現技術 II	1・2・3・4後		1							1
	日本語表現技術 III	1・2・3・4前		1					1		
	日本語表現技術 IV	1・2・3・4後		1							1
	日本語研究A(時事 I)	1・2・3・4前		1							1
	日本語研究B(時事 II)	1・2・3・4後		1							1
	日本語研究C(ビジネス I)	1・2・3・4前		1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語（基礎科目） 共通科目	英語 I a	1前		1								3
	英語 I b	1後		1								2
	英語 II a	2・3・4前		1								1
	英語 II b	2・3・4後		1								1
	中国語 Ia	1前		1								3
	中国語 Ib	1後		1								3
	中国語 II a	2・3・4前		1								2
	中国語 II b	2・3・4後		1								2
	朝鮮語 Ia	1前		1								2
	朝鮮語 Ib	1後		1								2
	フランス語 Ia	1前		1								1
フランス語 Ib	1後		1								1	
海外語学研修	1・2・3・4前		1					1			0	
外国語目的別科目 共通科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前		1					0			2
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後		1					0			2
	英語コミュニケーション発展a	3・4前		1					0			2
	英語コミュニケーション発展b	3・4後		1					0			2
	英語コミュニケーション応用	1・2・3・4前・後		2								2
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後		2								2
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4前・後		2								1
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4前・後		2					0			3
	ビジネス英語	2・3・4後		2					0			1
	映画・ドラマ英語	2・3・4前・後		2								2
	インターネット英語	2・3・4後		2								1
	メディア英語	2・3・4前		2								1
	TOEIC対策講座	1・2・3・4後		2								2
中国語試験対策講座	1・2・3・4前・後		2								1	
日本語検定対策講座	1・2・3・4前・後		2						0		2	
日本語（非母国語者向） 共通科目	総合日本語 I a	1前		1							0	1
	総合日本語 I b	1後		1							0	1
	総合日本語 II a	2前		1						1		0
	総合日本語 II b	2後		1							1	
	総合日本語 III a	3・4前		1								1
	総合日本語 III b	3・4後		1							0	1
	日本語表現技術 I	1・2・3・4前		1							0	1
	日本語表現技術 II	1・2・3・4後		1							0	1
	日本語表現技術 III	1・2・3・4前		1							0	1
	日本語表現技術 IV	1・2・3・4後		1							0	1
	日本語研究A(時事 I)	1・2・3・4前		1							0	1
	日本語研究B(時事 II)	1・2・3・4後		1							0	1
	日本語研究C(ビジネス I)	1・2・3・4前		1								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
日本語 (非母国語者向)	日本語研究D(ビジネスⅡ)	1・2・3・4後		1							1
	日本語研究E(医療・福祉専門)	1・2・3・4前		1							1
	日本語研究F(人文科学)	1・2・3・4後		1							1
	日本語能力試験対策講座Ⅰ	1・2・3・4前		1							1
	日本語能力試験対策講座Ⅱ	1・2・3・4後		1							1
	日本語集中講座(編入)	1・2・3・4前		1				1			1
キャリア教育 共通科目	キャリアデザイン入門	2前	2			1					
	キャリアロールモデル研究	2後		2		1					
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前		2		2					
	プロアクティブ人材育成	2後		2		2					
	キャリアサポート演習	3通		2						1	
	キャリア基礎力Ⅰ	2・3前		2							2
	キャリア基礎力Ⅱ	2・3後		2							1
	インターンシップ短期	1・2・3前・後		1							1
	インターンシップ長期	1・2・3前・後		2							1
小計(89科目)	-	8	127	0	5	3	2			68	
日本語基礎 専門科目	日本語基礎	1前	2					2			1
	日本語表現Ⅰ	1後	2			1	1				1
	日本語表現Ⅱ	2後	2			1	1				2
	日本語表現Ⅲ	3後	2			2	1				
ことば読む 専門科目	朗読	1・2・3前		1		1					
	精読	1・2・3前		1		1					
	演劇表現	1・2・3後		1			1				
	読み聞かせ	1・2・3後		1		1					
ことば書く 専門科目	文章創作	1・2・3前		1							1
	ジャーナリズムの文章	1・2・3後		1		1					
	実用書道(硬筆)	1・2・3前		1							1
	実用書道(毛筆)	1・2・3前		1							1
ことば話す・聞く 専門科目	くらしの中のことば	1・2・3前		1		1					
	手話表現	1・2・3後		1							1
	表現技法	1・2・3前		1		1	1				
	ことばあそび	1・2・3後		1		1	1				
ワーキング文化体験 専門科目	多文化スタディーズ	1・2・3後		2		1					
	文化発信プロジェクト	2・3・4前		2		1					
	着物の文化	2・3・4前		2		1					
	書籍空間論	2・3・4前		2			1				
	和本の文化	2・3・4後		2		1	1				1
ワーキング作品創作 専門科目	小説研究	2・3・4後		2							1
	エディター入門	2・3・4後		2		1					
	デジタルアート入門	2・3・4後		2							1
	デザイン書道(硬筆)	2・3・4後		1							1
	デザイン書道(毛筆)	2・3・4後		1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
日本語 (非母国語者向)	日本語研究D(ビジネスⅡ)	1・2・3・4後		1							1
	日本語研究E(医療・福祉専門)	1・2・3・4前後		1				0			1
	日本語研究F(人文科学)	1・2・3・4後		1							1
	日本語能力試験対策講座Ⅰ	1・2・3・4前		1							1
	日本語能力試験対策講座Ⅱ	1・2・3・4後		1							1
	日本語集中講座(編入)	1・2・3・4前		1					1		0
キャリア教育 共通科目	キャリアデザイン入門	2前	2			2		1			
	キャリアロールモデル研究	2前		2		1					0
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前		2		1		1			1
	プロアクティブ人材育成	2後		2		1					
	キャリアサポート演習	3通		2							2
	キャリア基礎力Ⅰ	2・3前		2							2
	キャリア基礎力Ⅱ	2・3後		2							2
	インターンシップ短期	1・2・3前・後		1							1
	インターンシップ長期	1・2・3前・後		2							1
小計(89科目)	-	8	127	0	6	2	3			84	
日本語基礎 専門科目	日本語基礎	1前	2					1			2
	日本語表現Ⅰ	1後	2					0	1		3
	日本語表現Ⅱ	2後	2					0	1		4
	日本語表現Ⅲ	3後	2					2	1	1	
ことば読む 専門科目	朗読	1・2・3前		1		1					
	精読	1・2・3前		1		1					
	演劇表現	1・2・3後		1			1				
	読み聞かせ	1・2・3後		1		1					
ことば書く 専門科目	文章創作	1・2・3前		1							1
	ジャーナリズムの文章	1・2・3後		1		1					
	実用書道(硬筆)	1・2・3前		1							1
	実用書道(毛筆)	1・2・3前		1							1
ことば話す・聞く 専門科目	くらしの中のことば	1・2・3前		1		1					
	手話表現	1・2・3後		1							1
	表現技法	1・2・3前		1		1	1				
	ことばあそび	1・2・3後		1		1	1				
ワーキング文化体験 専門科目	多文化スタディーズ	1・2・3後		2		1				1	
	文化発信プロジェクト	2・3・4前		2		1					
	着物の文化	2・3・4前		2		1					1
	書籍空間論	2・3・4前		2			1				
	和本の文化	2・3・4後		2		1	1				1
ワーキング作品創作 専門科目	小説研究	2・3・4後		2							1
	エディター入門	2・3・4後		2		1					
	デジタルアート入門	2・3・4後		2							1
	デザイン書道(硬筆)	2・3・4後		1							1
	デザイン書道(毛筆)	2・3・4後		1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
日本語・日本文学 専門科目	日本語学入門	1前	2			1						
	日本文学概論	2前	2								1	
	日本文学史A	1・2後	2								1	
	日本文学史B	1・2前	2								1	
	日本文学史C	1・2後	2		1							
	音声表現	2・3・4後	2		1							
	漢詩・漢文に親しむ	2・3・4前	2								1	
	日本語学A	2・3・4前	2			1						
	日本語学B	2・3・4前	2		1							
	日本語学研究A	2・3・4後	2			1						
	日本語学研究B	2・3・4後	2		1							
	日本文学論A	2・3・4前	2								1	
	日本文学論B	2・3・4前	2		1							
	日本文学論C	2・3・4前	2		1							
	日本文学研究A	2・3・4後	2								1	
	日本文学研究B	2・3・4後	2		1							
	日本文学研究C	2・3・4後	2		1							
	言語学入門	1・2後	2		1							
	日本文学の名作	1・2前	2								1	
編集文化論	2・3・4前	2		1								
日本語音声学	2・3・4前	2		1								
児童文学	2・3・4前	2								1		
物語分析	2・3・4前	2								1		
多文化理解 専門科目・共生科目	多文化理解入門	1前	2			1						
	多文化理解概論	1後	2			1						
	日本と異文化	1・2前	2		1							
	多文化社会とコミュニケーション	1・2後	2					1				
	多文化共生ワークショップ	1・2・3前	2		1		2					
	英語で学ぶ日本文化	2・3・4前	2		1		1					
	英語で伝える日本文化	2・3・4後	2		1		1					
	海外文学の名作	1・2後	2			1						
	国際文化論	2・3・4前	2					1				
	比較文化論	2・3・4前	2			1						
	比較文化研究	2・3・4後	2		1							
	世界のファンタジー	2・3・4前	2			1						
	多文化社会とユーモア	2・3・4後	2			1						
	アニメ文化論	2・3・4前	2								1	
	ディズニー研究	2・3・4後	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
日本語・日本文学 専門科目	日本語学入門	1前	2					1				
	日本文学概論	2前	2					0	1			0
	日本文学史A	1・2後	2					0	1			0
	日本文学史B	1・2前	2						1			0
	日本文学史C	1・2後	2		1							
	音声表現	2・3・4後	2		1							
	漢詩・漢文に親しむ	2・3・4前	2								1	
	日本語学A	2・3・4前	2			1						
	日本語学B	2・3・4前	2		1							
	日本語学研究A	2・3・4後	2					1				
	日本語学研究B	2・3・4後	2		1							
	日本文学論A	2・3・4前	2					0	1			0
	日本文学論B	2・3・4前	2		1							
	日本文学論C	2・3・4前	2		1							
	日本文学研究A	2・3・4後	2					0	1			0
	日本文学研究B	2・3・4後	2		1							
	日本文学研究C	2・3・4後	2		1							
	言語学入門	1・2後	2		1							
	日本文学の名作	1・2前	2					0				1
編集文化論	2・3・4前	2		1								
日本語音声学	2・3・4後	2		1			0	1				
児童文学	2・3・4前	2								1		
物語分析	2・3・4後	2								1		
多文化理解 専門科目・共生科目	多文化理解入門	1前	2			1						
	多文化理解概論	1後	2			1						
	日本と異文化	1・2前	2		1							
	多文化社会とコミュニケーション	1・2後	2						0			1
	多文化共生ワークショップ	1・2・3前	2		1		2					
	英語で学ぶ日本文化	2・3・4前	2		1		1					1
	英語で伝える日本文化	2・3・4後	2		1		1					1
	海外文学の名作	1・2後	2			1						
	国際文化論	2・3・4前	2						1			
	比較文化論	2・3・4前	2			1						
	比較文化研究	2・3・4後	2		1							
	世界のファンタジー	2・3・4前	2			1						
	多文化社会とユーモア	2・3・4後	2			1						
	アニメ文化論	2・3・4前	2								1	
	ディズニー研究	2・3・4後	2								1	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
芸術・文化科目 専門科目	芸術文化概論	2後	2			1						
	日本文化特講	3前	2			1						
	生涯学習概論	1・2前		2							1	
	日本美術史	1・2後		2		1						
	西洋美術史	1・2前		2							1	
	文化財研究	2・3・4後		2				1				
	日本の民俗文化	2・3・4前		2		1						
	文化を考える	1・2前		2		1						
	図書館の文化	2・3・4前		2			1					
	衣食住の文化	2・3・4後		2							1	
	映像文化論	2・3・4後		2							1	
	世界の演劇	2・3・4前		2			1					
	芸術と歴史	2・3・4前		2							1	
	テーマで触れる芸術	2・3・4前		2		1						
	生活とデザイン	2・3・4後		2							1	
	考える日本史	2・3・4後		2							1	
	神話・伝承学	2・3・4前		2		1						
芸能の世界	2・3・4後		2							1		
舞台芸術	2・3・4後		2							1		
ミュージカル研究	2・3・4前		2							1		
身体と表現	2・3・4前		2							1		
ゼミナール 専門科目	基礎演習	1後	1			4	1					
	文芸文化ゼミⅠ	2前	1			4	2	1				
	文芸文化ゼミⅡ	2後	1			3	1	1				
	文芸文化テーマ研究ゼミ	3通	2			6	3	2				
卒業研究	4通	4			6	3	2					
小計(90科目)	-	29	136	0	7	3	2				22	
合計(179科目)	-	37	263	0	7	3	2				87	
卒業要件及び履修方法												
<p>共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。</p> <p>専門科目から、必修科目6科目12単位を含めた90単位以上を修得すること。</p> <p>その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。</p> <p>合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
芸術・文化科目 専門科目	芸術文化概論	2後	2			1						
	日本文化特講	3前	2			1						
	生涯学習概論	1・2前		2							1	
	日本美術史	1・2後		2		1						
	西洋美術史	1・2前		2							1	
	文化財研究	2・3・4後		2				1				
	日本の民俗文化	2・3・4前		2		1						
	文化を考える	1・2前		2		1						
	図書館の文化	2・3・4前		2			1					
	衣食住の文化	2・3・4後		2						1		0
	映像文化論	2・3・4後		2							1	
	世界の演劇	2・3・4前		2			1					
	芸術と歴史	2・3・4後		2							1	
	テーマで触れる芸術	2・3・4前		2		1						
	生活とデザイン	2・3・4後		2							1	
	考える日本史	2・3・4前		2							1	
	神話・伝承学	2・3・4前		2		1						
芸能の世界	2・3・4後		2							1		
舞台芸術	2・3・4後		2							1		
ミュージカル研究	2・3・4前		2							1		
身体と表現	2・3・4前		2							1		
ゼミナール 専門科目	基礎演習	1後	1			3	1	2				
	文芸文化ゼミⅠ	2前	1			3	2	1				
	文芸文化ゼミⅡ	2後	1			3	1	2				
	文芸文化テーマ研究ゼミ	3通	2			4	3	3				
卒業研究	4通	4			6	3	1					
小計(90科目)	-	29	136	0	7	3	3				23	
合計(179科目)	-	37	263	0	7	3	3				109	
卒業要件及び履修方法												
<p>共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。</p> <p>専門科目から、必修科目15科目29単位を含めた90単位以上を修得すること。</p> <p>その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。</p> <p>合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。</p>												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ゼミナール 共通科目	入門ゼミナール	1前	2			4	1	1				
	コミュニケーション演習	1後	1			0	0					2
	読書入門ゼミナール	1・2・3・4後		2		1	0	0				9
	課題解決ゼミナール	2・3前・後		2			1					2
	総合ゼミナール	3・4前・後		2								3
共通科目 総合科目	地域で学ぶ	1・2・3・4前・後		2								2
	地域と人間生活	2・3・4前・後		2								10
	人間関係とコミュニケーション	1・2・3・4後		2								2
	人間理解ワークショップ	2・3・4前・後	2			1						4
	総合科目	1・2・3・4前・後		2			0					14
女性を生きる 共通科目	キャリアデザインとライフプラン	1前・後		2								2
	リーガルリテラシー	1前・後		2								1
	ジェンダーリテラシー	1前・後		2								1
	子育てと環境	1前・後		2								4
	女性と健康	1前・後		2								2
	女性の心と身体	1・2・3前・後		2								2
	食の科学	2・3前・後		2								3
	歴史のなかの女性	2・3前・後		2								1
	芸術を読みとる	2・3前		2		1						
	社会に生きる 共通科目	グローバル社会	1前・後		2			1	1			
ネットワーク社会		1前・後		2								1
共生社会入門		1前・後		2								1
多様性と倫理		1前・後		2								1
持続可能な社会		1前・後		2								1
くらしのなかの日本国憲法		1・2・3後		2								1
ボランティア論		1・2・3前・後		2								1
災害と社会		2・3前・後		2								1
21世紀型の教育		2・3前・後		2								2
保健体育 共通科目	身体運動Ⅰ	1・2・3・4前		1								1
	身体運動Ⅱ	1・2・3・4後		1								15
情報処理 共通科目	情報処理演習Ⅰ	1前	1									1
	情報処理演習Ⅱ	1・2・3・4後		1								1

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ゼミナール 共通科目	入門ゼミナール	1前	2			3	1	2				
	コミュニケーション演習	1後	1			0	0					2
	読書入門ゼミナール	1・2・3・4後		2		0	0	0				9
	課題解決ゼミナール	2・3前・後		2			1					2
	総合ゼミナール	3・4前・後		2								2
共通科目 総合科目	地域で学ぶ	1・2・3・4前・後		2								2
	地域と人間生活	2・3・4前・後		2								10
	人間関係とコミュニケーション	1・2・3・4後		2								2
	人間理解ワークショップ	2・3・4前・後	2			1						4
	総合科目	1・2・3・4前・後		2			0					14
女性を生きる 共通科目	キャリアデザインとライフプラン	1前・後		2								2
	リーガルリテラシー	1前・後		2								1
	ジェンダーリテラシー	1前・後		2								1
	子育てと環境	1前・後		2								4
	女性と健康	1前・後		2								2
	女性の心と身体	1・2・3前・後		2								2
	食の科学	2・3前・後		2								3
	歴史のなかの女性	2・3前・後		2								1
	芸術を読みとる	2・3前		2		1						
	社会に生きる 共通科目	グローバル社会	1前・後		2			1	1			
ネットワーク社会		1前・後		2								1
共生社会入門		1前・後		2								1
多様性と倫理		1前・後		2								1
持続可能な社会		1前・後		2								1
くらしのなかの日本国憲法		1・2・3後		2								1
ボランティア論		1・2・3前・後		2								1
災害と社会		2・3前・後		2								1
21世紀型の教育		2・3前・後		2								1
保健体育 共通科目	身体運動Ⅰ	1・2・3・4前		1								1
	身体運動Ⅱ	1・2・3・4後		1								14
情報処理 共通科目	情報処理演習Ⅰ	1前	1									1
	情報処理演習Ⅱ	1・2・3・4後		1								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語（基礎科目） 共通科目	英語 I a	1前		1							3
	英語 I b	1後		1							2
	英語 II a	2・3・4前		1						1	
	英語 II b	2・3・4後		1						1	
	中国語Ia	1前		1							3
	中国語Ib	1後		1							3
	中国語 II a	2・3・4前		1						1	
	中国語 II b	2・3・4後		1						1	
	朝鮮語Ia	1前		1							2
	朝鮮語Ib	1後		1							2
	フランス語Ia	1前		1							1
フランス語Ib	1後		1							1	
海外語学研修	1・2・3・4前		1		1						0
外国語目的別科目 共通科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前		1		0					2
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後		1		0					2
	英語コミュニケーション発展a	3・4前		1		0				1	2
	英語コミュニケーション発展b	3・4後		1		0				1	2
	英語コミュニケーション応用	1・2・3・4後		2						2	2
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後		2						3	2
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4後		2						2	1
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4後		2		0				2	2
	ビジネス英語	2・3・4後		2		0				1	1
	映画・ドラマ英語	2・3・4後		2						2	2
	インターネット英語	2・3・4後		2						1	1
メディア英語	2・3・4前		2						1	1	
TOEIC対策講座	1・2・3・4前後		2						3	2	
中国語試験対策講座	1・2・3・4前後		2						1	1	
日本語検定対策講座	1・2・3・4前・後		2			0				2	2
日本語（非母国語者向） 共通科目	総合日本語 I a	1前		1			1				0
	総合日本語 I b	1後		1			1				0
	総合日本語 II a	2前		1			1				0
	総合日本語 II b	2後		1			1				0
	総合日本語 III a	3・4前		1						1	1
	総合日本語 III b	3・4後		1			0			1	1
	日本語表現技術 I	1・2・3・4前		1			0			1	1
	日本語表現技術 II	1・2・3・4後		1			0			1	1
	日本語表現技術 III	1・2・3・4前		1			0			1	1
	日本語表現技術 IV	1・2・3・4後		1			1			0	0
	日本語研究A(時事 I)	1・2・3・4前		1			0			1	1
日本語研究B(時事 II)	1・2・3・4後		1						1	1	
日本語研究C(ビジネス I)	1・2・3・4前		1						1	1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語（基礎科目） 共通科目	英語 I a	1前		1		0					3
	英語 I b	1後		1							2
	英語 II a	2・3・4前		1						1	
	英語 II b	2・3・4後		1						1	
	中国語Ia	1前		1							2
	中国語Ib	1後		1							2
	中国語 II a	2・3・4前		1						1	
	中国語 II b	2・3・4後		1						1	
	朝鮮語Ia	1前		1							2
	朝鮮語Ib	1後		1							2
	フランス語Ia	1前		1							1
フランス語Ib	1後		1							1	
海外語学研修(未開講)	1・2・3・4前		1								1
外国語目的別科目 共通科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前		1		0					2
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後		1		0					2
	英語コミュニケーション発展a	3・4前		1			1				
	英語コミュニケーション発展b	3・4後		1			1				
	英語コミュニケーション応用	1・2・3・4後		2						2	2
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後		2						2	2
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4後		2						2	1
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4後		2			0			2	2
	ビジネス英語	2・3・4後		2			0			1	1
	映画・ドラマ英語	2・3・4後		2						2	2
	インターネット英語	2・3・4後		2						1	1
メディア英語	2・3・4前		2						1	1	
TOEIC対策講座	1・2・3・4後		2						2	2	
中国語試験対策講座	1・2・3・4前		2						1	1	
日本語検定対策講座	1・2・3・4前・後		2				0			2	2
日本語（非母国語者向） 共通科目	総合日本語 I a	1前		1					1		0
	総合日本語 I b	1後		1					2		0
	総合日本語 II a	2前		1					1		0
	総合日本語 II b	2後		1					1		0
	総合日本語 III a	3・4前		1						1	1
	総合日本語 III b	3・4後		1					1		1
	日本語表現技術 I	1・2・3・4前		1					0		1
	日本語表現技術 II	1・2・3・4後		1					0		1
	日本語表現技術 III	1・2・3・4前		1					0		1
	日本語表現技術 IV	1・2・3・4後		1					1		0
	日本語研究A(時事 I)	1・2・3・4前		1					0		1
日本語研究B(時事 II)	1・2・3・4後		1						1	1	
日本語研究C(ビジネス I)	1・2・3・4前		1						1	1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
日本語 (非母国語者向)	日本語研究D(ビジネスⅡ)	1・2・3・4後		1							1
	日本語研究E(医療・福祉専門)	1・2・3・4前		1				1			0
	日本語研究F(人文科学)	1・2・3・4後		1							1
	日本語能力試験対策講座Ⅰ	1・2・3・4前		1							1
	日本語能力試験対策講座Ⅱ	1・2・3・4後		1							1
	日本語集中講座(編入)	1・2・3・4前		1				2			0
キャリア教育 共通科目	キャリアデザイン入門	2前	2			2		1			
	キャリアロールモデル研究	2前		2		1					0
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前		2		1					1
	プロアクティブ人材育成	2後		2		1					
	キャリアサポート演習	3通		2							2
	キャリア基礎力Ⅰ	2・3前		2							2
	キャリア基礎力Ⅱ	2・3後		2							2
	インターンシップ短期	1・2・3前・後		1							1
	インターンシップ長期	1・2・3前・後		2							1
小計(89科目)	-	8	127	0	6	2	3				87
日本語科目 専門科目	日本語基礎	1前	2					1			2
	日本語表現Ⅰ	1後	2				0	2			2
	日本語表現Ⅱ	2後	2			1		0			4
	日本語表現Ⅲ	3後	2			3	1				
ことば読む 専門科目	朗読	1・2・3前		1		1					
	精読	1・2・3前		1		1					
	演劇表現	1・2・3後		1			1				
	読み聞かせ	1・2・3後		1		1					
ことば書く 専門科目	文章創作	1・2・3前		1							1
	ジャーナリズムの文章	1・2・3後		1		1					
	実用書道(硬筆)	1・2・3前		1							1
	実用書道(毛筆)	1・2・3前		1							1
ことば話す・聞く 専門科目	くらしの中のことば	1・2・3前		1		1					
	手話表現	1・2・3後		1							1
	表現技法	1・2・3前		1		1	1				
	ことばあそび	1・2・3後		1		1	1				
ワーキング文化体験 専門科目	多文化スタディーズ	1・2・3後		2		1		1			
	文化発信プロジェクト	2・3・4前		2		1					
	着物の文化	2・3・4前		2							1
	書籍空間論	2・3・4前		2			1				
	和本の文化	2・3・4後		2		2	1				0
ワーキング作品創作 専門科目	小説研究	2・3・4後		2							1
	エディター入門	2・3・4後		2		1					
	デジタルアート入門	2・3・4後		2							1
	デザイン書道(硬筆)	2・3・4後		1							1
	デザイン書道(毛筆)	2・3・4後		1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
日本語 (非母国語者向)	日本語研究D(ビジネスⅡ)	1・2・3・4後		1							1
	日本語研究E(医療・福祉専門)	1・2・3・4前		1				1			0
	日本語研究F(人文科学)	1・2・3・4後		1							1
	日本語能力試験対策講座Ⅰ	1・2・3・4前		1							1
	日本語能力試験対策講座Ⅱ	1・2・3・4後		1							1
	日本語集中講座(編入)	1・2・3・4前		1				1			0
キャリア教育 共通科目	キャリアデザイン入門	2前	2			2		1			
	キャリアロールモデル研究	2前		2		1					
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前		2		1					1
	プロアクティブ人材育成	2後		2		1					
	キャリアサポート演習	3通		2							1
	キャリア基礎力Ⅰ	2・3前		2							1
	キャリア基礎力Ⅱ	2・3後		2							1
	インターンシップ短期	1・2・3前・後		1							1
	インターンシップ長期	1・2・3前・後		2							1
小計(89科目)	-	8	127	0	4	2	3				92
日本語科目 専門科目	日本語基礎	1前	2					1			2
	日本語表現Ⅰ	1後	2				0	2			2
	日本語表現Ⅱ	2後	2			1		0			4
	日本語表現Ⅲ	3後	2			2	1				
ことば読む 専門科目	朗読	1・2・3前		1		1					
	精読	1・2・3前		1		1					
	演劇表現	1・2・3後		1			1				
	読み聞かせ	1・2・3後		1		1					
ことば書く 専門科目	文章創作	1・2・3前		1							1
	ジャーナリズムの文章	1・2・3後		1		1					
	実用書道(硬筆)	1・2・3前		1							1
	実用書道(毛筆)	1・2・3前		1							1
ことば話す・聞く 専門科目	くらしの中のことば	1・2・3前		1		1					
	手話表現	1・2・3後		1							1
	表現技法	1・2・3前		1		1	1				
	ことばあそび	1・2・3後		1		1	1				
ワーキング文化体験 専門科目	多文化スタディーズ	1・2・3後		2		1		1			
	文化発信プロジェクト	2・3・4前		2		1					
	着物の文化	2・3・4前		2				0			1
	書籍空間論	2・3・4前		2			1				
	和本の文化	2・3・4後		2		2	1				0
ワーキング作品創作 専門科目	小説研究	2・3・4後		2							1
	エディター入門	2・3・4後		2		1					
	デジタルアート入門	2・3・4後		2							1
	デザイン書道(硬筆)	2・3・4後		1							1
	デザイン書道(毛筆)	2・3・4後		1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
日本語・日本文学 専門科目	日本語学入門	1前	2			1						
	日本文学概論	2前	2			1					0	
	日本文学史A	1・2後	2			1					0	
	日本文学史B	1・2前	2								1	
	日本文学史C	1・2後	2			1						
	音声表現	2・3・4後	2			1						
	漢詩・漢文に親しむ	2・3・4前	2								1	
	日本語学A	2・3・4前	2			1						
	日本語学B	2・3・4前	2			1						
	日本語学研究A	2・3・4後	2			1						
	日本語学研究B	2・3・4後	2			1						
	日本文学論A	2・3・4前	2			1					0	
	日本文学論B	2・3・4前	2			1						
	日本文学論C	2・3・4前	2			1						
	日本文学研究A	2・3・4後	2			1					0	
	日本文学研究B	2・3・4後	2			1						
	日本文学研究C	2・3・4後	2			1						
	言語学入門	1・2後	2			1						
日本文学の名作	1・2前	2			1					0		
編集文化論	2・3・4前	2			1							
日本語音声学	2・3・4後	2			0		1					
児童文学	2・3・4前	2								1		
物語分析	2・3・4後	2								1		
多文化理解 専門科目・共生科目	多文化理解入門	1前	2			1						
	多文化理解概論	1後	2			1						
	日本と異文化	1・2前	2			1						
	多文化社会とコミュニケーション	1・2後	2					1				
	多文化共生ワークショップ	1・2・3前	2			1		2				
	英語で学ぶ日本文化	2・3・4前	2			0		1			1	
	英語で伝える日本文化	2・3・4後	2			0		1			1	
	海外文学の名作	1・2後	2			1						
	国際文化論	2・3・4前	2					1				
	比較文化論	2・3・4前	2			1						
	比較文化研究	2・3・4後	2			1						
	世界のファンタジー	2・3・4後	2							1		
	多文化社会とユーモア	2・3・4後	2			1						
	アニメ文化論	2・3・4後	2								1	
ディズニー研究	2・3・4後	2								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
日本語・日本文学 専門科目	日本語学入門	1前	2			1						
	日本文学概論	2前	2			1					0	
	日本文学史A	1・2後	2			1					0	
	日本文学史B	1・2前	2								1	
	日本文学史C	1・2後	2			1						
	音声表現	2・3・4後	2			1						
	漢詩・漢文に親しむ	2・3・4前	2								1	
	日本語学A	2・3・4前	2					1				
	日本語学B	2・3・4前	2			1						
	日本語学研究A	2・3・4後	2					1				
	日本語学研究B	2・3・4後	2			1						
	日本文学論A	2・3・4前	2			1					0	
	日本文学論B	2・3・4前	2			1						
	日本文学論C	2・3・4前	2			1						
	日本文学研究A	2・3・4後	2			1					0	
	日本文学研究B	2・3・4後	2			1						
	日本文学研究C	2・3・4後	2			1						
	言語学入門	1・2後	2			1						
日本文学の名作	1・2前	2			1					0		
編集文化論	2・3・4前	2			1							
日本語音声学	2・3・4後	2			0		1					
児童文学	2・3・4前	2								1		
物語分析	2・3・4後	2								1		
多文化理解 専門科目・共生科目	多文化理解入門	1前	2			1						
	多文化理解概論	1後	2			1						
	日本と異文化	1・2前	2			1						
	多文化社会とコミュニケーション	1・2後	2					1				
	多文化共生ワークショップ	1・2・3前	2			1		2				
	英語で学ぶ日本文化	2・3・4前	2			0		1			1	
	英語で伝える日本文化	2・3・4後	2			0		1			1	
	海外文学の名作	1・2後	2			1						
	国際文化論	2・3・4前	2					1				
	比較文化論	2・3・4前	2			1						
	比較文化研究	2・3・4後	2			1						
	世界のファンタジー	2・3・4後	2							1		
	多文化社会とユーモア	2・3・4後	2			1						
	アニメ文化論	2・3・4後	2								1	
ディズニー研究	2・3・4後	2								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
芸術・文化科目 専門科目	芸術文化概論	2後	2			1						
	日本文化特講	3前	2			1						
	生涯学習概論	1・2前		2							1	
	日本美術史	1・2後		2								1
	西洋美術史	1・2前		2								1
	文化財研究	2・3・4後		2				1				
	日本の民俗文化	2・3・4前		2		1						
	文化を考える	1・2前		2		1						
	図書館の文化	2・3・4前		2			1					
	衣食住の文化	2・3・4後		2							1	
	映像文化論	2・3・4後		2							1	
	世界の演劇	2・3・4前		2			1					
	芸術と歴史	2・3・4後		2							1	
	テーマで触れる芸術	2・3・4前		2		1						
	生活とデザイン	2・3・4後		2							1	
	考える日本史	2・3・4前		2							1	
神話・伝承学	2・3・4前		2		1							
芸能の世界	2・3・4前		2							1		
舞台芸術	2・3・4後		2							1		
ミュージカル研究	2・3・4前		2							1		
身体と表現	2・3・4前		2							1		
ゼミナール 専門科目	基礎演習	1後	1			3	2	1				
	文芸文化ゼミⅠ	2前	1			3	2	1				
	文芸文化ゼミⅡ	2後	1			4	1	1				
	文芸文化テーマ研究ゼミ	3通	2			7	3	1				
卒業研究	4通	4			6	3	2					
小計(90科目)	-	29	136	0	7	3	3				26	
合計(179科目)	-	37	263	0	7	3	3				109	
卒業要件及び履修方法												
<p>共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。</p> <p>専門科目から、必修科目15科目29単位を含めた90単位以上を修得すること。</p> <p>その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。</p> <p>合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
芸術・文化科目 専門科目	芸術文化概論	2後	2			1						
	日本文化特講	3前	2			1						
	生涯学習概論	1・2前		2							1	
	日本美術史	1・2後		2						1		
	西洋美術史	1・2前		2								1
	文化財研究	2・3・4後		2					1			
	日本の民俗文化	2・3・4前		2		1						
	文化を考える	1・2前		2		1						
	図書館の文化	2・3・4前		2			1					
	衣食住の文化	2・3・4後		2							1	
	映像文化論	2・3・4後		2							1	
	世界の演劇	2・3・4前		2			1					
	芸術と歴史	2・3・4後		2							1	
	テーマで触れる芸術	2・3・4前		2		1						
	生活とデザイン	2・3・4後		2							1	
	考える日本史	2・3・4前		2							1	
神話・伝承学	2・3・4前		2		1							
芸能の世界	2・3・4前		2							1		
舞台芸術	2・3・4後		2							1		
ミュージカル研究	2・3・4前		2							1		
身体と表現	2・3・4前		2							1		
ゼミナール 専門科目	基礎演習	1後	1			3	2	0				
	文芸文化ゼミⅠ	2前	1			3	2	1				
	文芸文化ゼミⅡ	2後	1			4	1	1				
	文芸文化テーマ研究ゼミ	3通	2			6	3	2				
卒業研究	4通	4			6	3	2					
小計(90科目)	-	29	136	0	7	3	3				26	
合計(179科目)	-	37	263	0	7	3	3				113	
卒業要件及び履修方法												
<p>共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。</p> <p>専門科目から、必修科目15科目29単位を含めた90単位以上を修得すること。</p> <p>その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。</p> <p>合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。</p>												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ゼミナール 共通科目	入門ゼミナール	1前	2			3	2	1				
	コミュニケーション演習	1前	1			0	0					2
	読書入門ゼミナール	1・2・3・4 後		2		0	0	1				9
	課題解決ゼミナール	2・3 前・ 後		2								2
	総合ゼミナール	3・4 前・ 後		2								2
共通科目 総合科目	地域で学ぶ	1・2・3・4 前・後		2								2
	地域と人間生活	2・3・4 前・後		2								6
	人間関係とコミュニケーション	1・2・3・4 後		2								2
	人間理解ワークショップ	2・3・4 前・後	2			1						3
	総合科目	1・2・3・4 前・後		2			1					9
女性を生きる 共通科目	キャリアデザインとライフプラン	1前・後		2								2
	リーガルリテラシー	1前・後		2								1
	ジェンダーリテラシー	1前・後		2								1
	子育てと環境	1前・後		2								4
	女性と健康	1前・後		2								2
	女性の心と身体	1・2・3 前・後		2								2
	食の科学	2・3 前・ 後		2								1
	歴史のなかの女性	2・3 前・ 後		2								1
	芸術を読みとる	2・3 前・ 後		2		1						
	社会に生きる 共通科目	グローバル社会	1前・後		2			1	1			
ネットワーク社会		1前・後		2								1
共生社会入門		1前・後		2								1
多様性と倫理		1前・後		2								1
持続可能な社会		1前・後		2								1
くらしのなかの日本国憲法		1・2・3 後		2								1
ボランティア論		1・2・3 前・後		2								1
災害と社会		2・3 前・ 後		2								1
21世紀型の教育		2・3 前・ 後		2								1
保健体育 共通科目	身体運動Ⅰ	1・2・3・4 前		1								1
	身体運動Ⅱ	1・2・3・4 後		1								15
情報処理 共通科目	情報処理演習Ⅰ	1前	1									2
	情報処理演習Ⅱ	1・2・3・4 後		1								1

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語（基礎科目） 共通科目	英語 I a	1前		1		1						3
	英語 I b	1後		1								2
	英語 II a	2・3・4前		1								1
	英語 II b	2・3・4後		1								1
	中国語 Ia	1前		1								2
	中国語 Ib	1後		1								2
	中国語 II a	2・3・4前		1								2
	中国語 II b	2・3・4後		1								2
	朝鮮語 Ia	1前		1								2
	朝鮮語 Ib	1後		1								2
	フランス語 Ia	1前		1								1
	フランス語 Ib	1後		1								1
	海外語学研修(未開講)	1・2・3・4前		1								1
外国語目的別科目 共通科目	英語コミュニケーション基礎a	2・3・4前		1		1						
	英語コミュニケーション基礎b	2・3・4後		1		1						
	英語コミュニケーション発展a	3・4前		1		1						
	英語コミュニケーション発展b	3・4後		1		1						
	英語コミュニケーション応用(未開講)	1・2・3・4前・後		2								1
	アドバンスト・リスニング	1・2・3・4後		2								2
	アドバンスト・リーディング	1・2・3・4後		2								2
	アドバンスト・ライティング	1・2・3・4後		2		1						1
	ビジネス英語	2・3・4後		2		1						
	映画・ドラマ英語	2・3・4後		2								1
	インターネット英語	2・3・4後		2								1
	メディア英語	2・3・4前		2								1
	TOEIC対策講座	1・2・3・4後		2								3
中国語試験対策講座	1・2・3・4前		2								1	
日本語検定対策講座	2・3・4前		2			1						
日本語（非母国語者向） 共通科目	総合日本語 I a	1前		1				1				0
	総合日本語 I b	1後		1				2				
	総合日本語 II a	2前		1								1
	総合日本語 II b	2後		1				1				
	総合日本語 III a	3・4前		1								1
	総合日本語 III b	3・4後		1				1				
	日本語表現技術 I	1・2・3・4前		1				1				
	日本語表現技術 II	1・2・3・4後		1				1				0
	日本語表現技術 III	1・2・3・4前		1				0				1
	日本語表現技術 IV	1・2・3・4後		1				1				0
	日本語研究A(時事 I)	1・2・3・4前		1					1			1
	日本語研究B(時事 II)	1・2・3・4後		1								1
日本語研究C(ビジネス I)	1・2・3・4前		1								1	



科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
日本語 (非母国語者向)	日本語研究D(ビジネスⅡ)	1・2・3・4後		1							1
	日本語研究E(医療・福祉専門)	1・2・3・4前		1				1			0
	日本語研究F(人文学)	1・2・3・4後		1							1
	日本語能力試験対策講座Ⅰ	1・2・3・4前		1							1
	日本語能力試験対策講座Ⅱ	1・2・3・4後		1							1
	日本語集中講座(編入)	1・2・3・4前		1				1			1
キャリア教育 共通科目	キャリアデザイン入門	2前	2			1					
	キャリアロールモデル研究	2後		2		1					
	企業に学ぶキャリアデザイン	2前		2		2					
	プロアクティブ人材育成	2後		2		2					
	キャリアサポート演習	3通		2							1
	キャリア基礎力Ⅰ	2・3前		2							2
	キャリア基礎力Ⅱ	2・3後		2							1
	インターンシップ短期	1・2・3前・後		1							1
インターンシップ長期	1・2・3前・後		2							1	
小計(89科目)			-	8	127	0	5	3	2		80
日本語科目 専門科目	日本語基礎	1前		2				2			1
	日本語表現Ⅰ	1後		2			1	2			1
	日本語表現Ⅱ	2後		2		1		1			2
	日本語表現Ⅲ	3後		2		2	1				
ことば読む 専門科目	朗読	1・2・3前		1		1					
	精読	1・2・3前		1		1					
	演劇表現(未開講)	1・2・3後		1			1				
	読み聞かせ	1・2・3後		1		1					
ことば書く 専門科目	文章創作	1・2・3前		1							1
	ジャーナリズムの文章	1・2・3後		1		1					
	実用書道(硬筆)	1・2・3前		1							1
	実用書道(毛筆)(未開講)	1・2・3前		1							1
ことば話す・聞く 専門科目	くらしの中のことば	1・2・3前		1		1					
	手話表現	1・2・3後		1							1
	表現技法	1・2・3前		1		1	1				
	ことばあそび	1・2・3後		1		1	1				
ワーキング文化体験 専門科目	多文化スタディーズ	1・2・3後		2		1					
	文化発信プロジェクト	2・3・4前		2		1					
	着物の文化	2・3・4前		2		1					
	書籍空間論	2・3・4前		2			1				
	和本の文化	2・3・4後		2		1	1				1
ワーキング作品創作 専門科目	小説研究	2・3・4後		2							1
	エディター入門	2・3・4後		2		1					
	デジタルアート入門	2・3・4後		2							1
	デザイン書道(硬筆)	2・3・4後		1							1
	デザイン書道(毛筆)	2・3・4後		1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
日本語・日本文学科目	日本語学入門	1前	2				1					
	日本文学概論	2前	2									1
	日本文学史A	1・2後		2		1						0
	日本文学史B	1・2前		2								1
	日本文学史C	1・2後		2		1						
	音声表現	2・3・4後		2		1						
	漢詩・漢文に親しむ	2・3・4前		2								1
	日本語学A	2・3・4前		2			1					
	日本語学B	2・3・4前		2		1						
	日本語学研究A	2・3・4後		2			1					
	日本語学研究B	2・3・4後		2		1						
	日本文学論A	2・3・4前		2								1
	日本文学論B	2・3・4前		2		1						
	日本文学論C	2・3・4前		2		1						
	日本文学研究A	2・3・4後		2								1
	日本文学研究B	2・3・4後		2		1						
	日本文学研究C	2・3・4後		2		1						
	言語学入門	1・2後		2		1						
	日本文学の名作	1・2前		2		1						0
	編集文化論	2・3・4前		2		1						
日本語音声学	2・3・4前		2		1							
児童文学	2・3・4前		2								1	
物語分析	2・3・4前		2								1	
多文化理解専門科目・共生科目	多文化理解入門	1前	2			1						
	多文化理解概論	1後	2				1					
	日本と異文化	1・2前		2		1						
	多文化社会とコミュニケーション	1・2後		2				1				
	多文化共生ワークショップ	1・2・3前		2		1		2				
	英語で学ぶ日本文化	2・3・4前		2		1		1				
	英語で伝える日本文化	2・3・4後		2		1		1				
	海外文学の名作	1・2後		2			1					
	国際文化論	2・3・4前		2				1				
	比較文化論	2・3・4前		2			1					
	比較文化研究	2・3・4後		2		1						
	世界のファンタジー	2・3・4前		2			1					
	多文化社会とユーモア	2・3・4後		2			1					
	アニメ文化論	2・3・4前		2								1
	ディズニー研究	2・3・4後		2								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
芸術・文化科目 専門科目	芸術文化概論	2後	2			1						
	日本文化特講	3前	2			1						
	生涯学習概論	1・2前		2								1
	日本美術史	1・2後		2		1						
	西洋美術史	1・2前		2								1
	文化財研究	2・3・4後		2					1			
	日本の民俗文化	2・3・4前		2		1						
	文化を考える	1・2前		2		1						
	図書館の文化	2・3・4前		2				1				
	衣食住の文化	2・3・4後		2								1
	映像文化論	2・3・4後		2								1
	世界の演劇	2・3・4前		2				1				
	芸術と歴史	2・3・4前		2								1
	テーマで触れる芸術	2・3・4前		2		1						
	生活とデザイン	2・3・4後		2								1
	考える日本史	2・3・4後		2								1
	神話・伝承学	2・3・4前		2		1						
	芸能の世界	2・3・4後		2								1
	舞台芸術	2・3・4後		2								1
	ミュージカル研究	2・3・4前		2								1
身体と表現	2・3・4前		2								1	
ゼミナール 専門科目	基礎演習	1後	1			4	1	1				
	文芸文化ゼミⅠ	2前	1			4	2	1				
	文芸文化ゼミⅡ	2後	1			3	1	1				
	文芸文化テーマ研究ゼミ	3通	2			6	3	2				
卒業研究	4通	4			6	3	2					
小計(90科目)	-	29	136	0	7	3	2				23	
合計(179科目)	-	37	263	0	7	3	2				103	
卒業要件及び履修方法												
<p>共通科目から必修科目5科目8単位を含めた22単位以上を修得すること。ただし、「女性を生きる」区分より「キャリアデザインとライフプラン」「リーガルリテラシー」「ジェンダーリテラシー」「子育てと環境」「女性と健康」から1科目2単位以上、「社会に生きる」区分より「グローバル社会」「ネットワーク社会」「共生社会入門」「多様性と倫理」「持続可能な社会」から1科目2単位以上、「保健体育」区分から1科目1単位以上、「外国語(基礎科目)」区分より「海外語学研修」を除いた12科目から1科目1単位以上を修得すること。</p> <p>専門科目から、必修科目6科目12単位を含めた90単位以上を修得すること。</p> <p>その他、自由選択科目として、共通科目・自学科専門科目・他学科専門科目から12単位以上を修得すること。</p> <p>合計で124単位以上を修得すること。なお、年間の履修上限は原則48単位である。</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・ 担当教員変更により、「入門ゼミナール」の教員配置を、「教授3」「准教授1」「講師1」から「教授3」「准教授2」「講師1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「コミュニケーション演習」の配当年次を、「1前・後」から「1前」に変更。  
担当教員変更により、「コミュニケーション演習」の教員配置を、「教授1」「准教授1」「兼任・兼任4」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「読書入門ゼミナール」の教員配置を、「教授2」「准教授2」「講師1」「兼任・兼任12」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・ 開講コマ数に伴う調整により、「総合科目」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「准教授1」「兼任・兼任9」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「女性と健康」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「グローバル社会」の教員配置を、「准教授1」から「准教授1」「講師1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「くらしのなかの日本国憲法」の配当年次を、「1・2・3 前・後」から「1・2・3 後」に変更。  
担当教員変更により、「くらしのなかの日本国憲法」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「身体運動Ⅱ」の教員配置を、「兼任・兼任12」から「兼任・兼任15」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語Ⅰa」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「教授1」「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語Ⅰa」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「朝鮮語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「アドバンスト・ライティング」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「教授1」「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「TOEIC対策講座」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語検定対策講座」の配当年次を、「1・2・3・4前・後」から「2・3・4前」に変更。
- ・ 担当教員の変更により、「総合日本語Ⅰa」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「講師1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「総合日本語Ⅰb」の教員配置を、「講師1」から「講師2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語表現技術Ⅱ」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「講師1」に変更。
- ・ 担当教員の変更により、「日本語表現技術Ⅲ」の教員配置を、「講師1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員の変更により、「日本語表現技術Ⅲ」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「講師1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語研究A（時事Ⅰ）」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「講師1」「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員の変更により、「日本語研究E（医療・福祉専門）」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「講師1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語表現Ⅰ」の教員配置を、「准教授1」「講師1」「兼任・兼任1」から「准教授1」「講師2」「講師1」「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員定年前のため、「日本文学史A」の教員は、令和4年度までは「教授1」、令和5年度より「兼任・兼任1」。
- ・ 担当教員定年前のため、「日本文学の名作」の教員は、令和4年度までは「教授1」、令和5年度より「兼任・兼任1」。
- ・ 教育効果を考慮し、「基礎演習」の教員配置を、「教授4」「准教授1」から「教授4」「准教授1」「講師1」に変更。

【令和3年度】

- ・ 担当教員変更により、「入門ゼミナール」の教員配置を、「教授3」「准教授2」「講師1」から「教授3」「准教授1」「講師2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「コミュニケーション演習」の配当年次を、「1前」から「1後」に変更。  
担当教員変更により、「読書入門ゼミナール」の教員配置を、「教授0」「准教授0」「講師1」「兼任・兼任9」から「教授0」「准教授0」「講師0」「兼任・兼任9」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「課題解決ゼミナール」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「准教授1」「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「地域と人間生活」の教員配置を、「兼任・兼任6」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「人間理解ワークショップ」の教員配置を、「教授1」「兼任・兼任3」から「教授1」「兼任・兼任4」に変更。
- ・ 開講コマ数に伴う調整により、「総合科目」の教員配置を、「准教授1」「兼任・兼任9」から「准教授0」「兼任・兼任14」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「食の科学」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「芸術を読みとる」の配当年次を、「2.3前後」から「2.3前」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「身体運動Ⅱ」の教員配置を、「兼任・兼任15」から「兼任・兼任14」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「情報処理演習Ⅰ」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「英語Ⅰa」の教員配置を、「教授1」「兼任・兼任3」から「教授0」「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「中国語Ⅱa」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「中国語Ⅱb」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語コミュニケーション基礎a」の教員配置を、「教授1」から「教授0」「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語コミュニケーション基礎b」の教員配置を、「教授1」から「教授0」「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語コミュニケーション応用」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。  
教育効果を考慮し、「英語コミュニケーション応用」の配当年次を、「1.2.3.4前後」から「1.2.3.4後」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「アドバンスト・リーディング」の教員配置を、「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。

- ・ 担当教員変更により、「アドバンスト・ライティング」の教員配置を、「教授1」「兼任・兼担1」から「教授0」「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「ビジネス英語」の教員配置を、「教授1」から「教授0」「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「映画・ドラマ英語」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「TOEIC対策講座」の教員配置を、「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語検定対策講座」の教員配置を、「准教授1」から「准教授0」「兼任・兼担2」に変更。  
教育効果を考慮し、「日本語検定対策講座」の配当年次を、「2.3.4前」から「1.2.3.4前後」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「総合日本語Ⅱa」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「講師1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「日本語表現技術Ⅰ」の教員配置を、「講師1」から「講師0」「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「日本語表現技術Ⅱ」の教員配置を、「講師1」「兼任・兼担0」から「講師0」「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「日本語研究A（時事Ⅰ）」の教員配置を、「講師1」「兼任・兼担1」から「講師0」「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「日本語集中講座（編入）」の教員配置を、「講師1」「兼任・兼担1」から「講師0」「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「キャリアデザイン入門」の教員配置を、「教授1」から「教授2」「講師1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「キャリアロールモデル研究」の配当年次を、「2後」から「2前」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「企業に学ぶキャリアデザイン」の教員配置を、「教授2」から「教授1」「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「プロアクティブ人材育成」の教員配置を、「教授2」から「教授1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「キャリア基礎力Ⅰ」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「日本語基礎」の教員配置を、「講師2」「兼任・兼担1」から「講師1」「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「日本語表現Ⅰ」の教員配置を、「准教授1」「講師2」「兼任・兼担1」から「准教授0」「講師2」「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「日本語表現Ⅱ」の教員配置を、「教授1」「講師1」「兼任・兼担2」から「教授1」「講師0」「兼任・兼担4」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「多文化スタディーズ」の教員配置を、「教授1」から「教授1」「講師1」に変更。
- ・ 担当者の職位変更により、「着物の文化」の教員配置を、「教授1」から「教授0」「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 担当教員定年前のため、「和本の文化」の教員は、令和4年度までは「教授2」「准教授1」「兼任・兼担0」、令和5年度より「教授1」「准教授1」「兼任・兼担1」。
- ・ 担当教員定年前のため、「日本文学概論」の教員は、令和4年度までは「教授1」、令和5年度より「教授0」「兼任・兼担1」。
- ・ 担当教員定年前のため、「日本文学論A」の教員は、令和4年度までは「教授1」、令和5年度より「教授0」「兼任・兼担1」。
- ・ 担当教員定年前のため、「日本文学研究A」の教員は、令和4年度までは「教授1」、令和5年度より「教授0」「兼任・兼担1」。
- ・ 担当教員変更により、「日本語音声学」の教員配置を、「教授1」から「教授0」「講師1」に変更。  
教育効果を考慮し、「日本語音声学」の配当年次を、「2.3.4前」から「2.3.4後」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「物語分析」の配当年次を、「2.3.4前」から「2.3.4後」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「英語で学ぶ日本文化」の教員配置を、「教授1」「講師1」から「教授0」「講師1」「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「英語で伝える日本文化」の教員配置を、「教授1」「講師1」から「教授0」「講師1」「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「世界のファンタジー」の配当年次を、「2.3.4前」から「2.3.4後」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「アニメ文化論」の配当年次を、「2.3.4前」から「2.3.4後」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「芸術と歴史」の配当年次を、「2.3.4前」から「2.3.4後」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「考える日本史」の配当年次を、「2.3.4後」から「2.3.4前」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「芸能の世界」の配当年次を、「2.3.4後」から「2.3.4前」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「基礎演習」の教員配置を、「教授4」「准教授1」「講師1」から「教授3」「准教授2」「講師0」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「文芸文化ゼミⅠ」の教員配置を、「教授4」「准教授2」「講師1」から「教授3」「准教授2」「講師1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「文芸文化ゼミⅡ」の教員配置を、「教授3」「准教授1」「講師1」から「教授4」「准教授1」「講師1」に変更。

## 【令和4年度】

- ・ 担当教員変更により、「入門ゼミナール」の教員配置を、「教授3」「准教授1」「講師2」から「教授4」「准教授1」「講師1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「読書入門ゼミナール」の教員配置を、「兼任・兼担9」から「教授1」「兼任・兼担9」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「総合ゼミナール」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「21世紀型の教育」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「身体運動Ⅱ」の教員配置を、「兼任・兼担14」から「兼任・兼担15」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「中国語Ⅰa」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「中国語Ⅰb」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「海外語学研修」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「教授1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語コミュニケーション発展a」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「英語コミュニケーション発展b」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「アドバンスト・リスニング」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「アドバンスト・リーディング」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「TOEIC対策講座」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。

合わせて、配当年次を「1.2.3.4後」から「1.2.3.4前後」に変更。

- ・ 教育効果を考慮し、「中国語試験対策講座」の配当年次を、「1.2.3.4後」から「1.2.3.4前後」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「総合日本語Ⅰb」の教員配置を、「講師2」から「講師1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「総合日本語Ⅲb」の教員配置を、「講師1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語集中講座（編入）」の教員配置を、「講師1」から「講師2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「キャリアデザイン入門」の配当年次を、「2後」から「2前」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「キャリアサポート演習」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「キャリア基礎力Ⅰ」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「キャリア基礎力Ⅱ」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語表現Ⅲ」の教員配置を、「教授2」「准教授1」から「教授3」「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「基礎演習」の教員配置を、「教授3」「准教授2」から「教授2」「准教授2」「講師1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「文芸文化テーマ研究ゼミ」の教員配置を、「教授6」「准教授3」「講師2」から「教授7」「准教授3」「講師1」に変更。

## 【令和5年度】

- ・ 担当教員変更により、「入門ゼミナール」の教員配置を、「教授4」「准教授1」「講師1」から「教授3」「准教授2」「講師2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、配当年次を「1後」から「1前後」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「入門ゼミナール」の教員配置を、「教授1」「兼任・兼担9」から「講師1」「兼任・兼担9」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「総合ゼミナール」の教員配置を、「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「人間理解ワークショップ」の教員配置を、「教授1」「兼任・兼担4」から「教授1」「兼任・兼担5」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「総合科目」の教員配置を、「兼任・兼担14」から「兼任・兼担9」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「女性の心と身体」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「食の科学」の教員配置を、「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「芸術を読みとる」の教員配置を、「教授1」から「講師1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「身体運動Ⅱ」の教員配置を、「兼任・兼担15」から「兼任・兼担14」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「中国語Ⅱa」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「中国語Ⅱb」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「アドバンスト・リスニング」の教員配置を、「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「アドバンスト・リーディング」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 合わせて、配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「アドバンスト・ライティング」の教員配置を、「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・ 合わせて、配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「ビジネス英語」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「映画・ドラマ英語」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前後」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「TOEIC対策講座」の教員配置を、「兼任・兼担3」から「兼任・兼担2」に変更。
- ・ 合わせて、配当年次を「1・2・3・4前後」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「総合日本語Ⅰa」の教員配置を、「講師1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「総合日本語Ⅰb」の教員配置を、「講師1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「日本語表現技術Ⅳ」の教員配置を、「講師1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語研究B（時事Ⅱ）」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語研究E（医療・福祉専門）」の教員配置を、「講師1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 合わせて、配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前後」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語集中講座（編入）」の教員配置を、「講師2」から「講師1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「企業に学ぶキャリアデザイン」の教員配置を、「教授1」「兼任・兼担1」から「教授1」「講師1」「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 教育効果を考慮し、「日本語表現Ⅰ」の教員配置を、「講師2」「兼任・兼担2」から「講師1」「兼任・兼担3」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「日本語表現Ⅱ」の教員配置を、「教授1」「兼任・兼担4」から「講師1」「兼任・兼担4」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「日本語表現Ⅲ」の教員配置を、「教授3」「准教授1」から「教授2」「准教授1」「講師1」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「和本の文化」の教員配置を、「教授2」「准教授1」から「教授1」「准教授1」「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「日本文学概論」の教員配置を、「教授1」から「講師1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「日本文学史A」の教員配置を、「教授1」から「講師1」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「日本文学史B」の教員配置を、「兼任・兼担1」から「講師1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「日本文学論A」の教員配置を、「教授1」から「講師1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「日本文学研究A」の教員配置を、「教授1」から「講師1」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「日本文学の名作」の教員配置を、「教授1」から「兼任・兼担1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「多文化社会とコミュニケーション」の教員配置を、「講師1」から「兼任・兼担1」に変更。

- ・ 教育効果を考慮し、「アニメ文化論」の配当年次を「2・3・4後」から「2・3・4前」に変更。
- ・ 担当教員の職位変更により、「衣食住の文化」の教員配置を、「兼任・兼任1」から「講師1」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「基礎演習」の教員配置を、「教授2」「准教授2」「講師1」から「教授2」「准教授1」「講師2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「文芸文化ゼミⅡ」の教員配置を、「教授4」「准教授1」「講師1」から「教授3」「准教授1」「講師2」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「文芸文化テーマ研究ゼミ」の教員配置を、「教授7」「准教授3」「講師1」から「教授4」「准教授3」「講師3」に変更。
- ・ 担当教員変更により、「卒業研究」の教員配置を、「教授6」「准教授3」「講師2」から「教授6」「准教授3」「講師1」「兼任・兼任1」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
20 科目	159 科目	科目	科目	20 科目 [ 0 ]	159 科目 [ 0 ]	科目 [ ]	179 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						該当なし
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						該当なし
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\quad - \quad} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	24,118 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	24,118 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	39,202 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	39,202 m <sup>2</sup>				
	小 計	63,320 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	63,320 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	21,905 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	21,905 m <sup>2</sup>				
	合 計	85,225 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	85,225 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	30,715 m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	— m <sup>2</sup>	30,715 m <sup>2</sup>	大学全体			
	( 30,715 m <sup>2</sup> )	( — m <sup>2</sup> )	( — m <sup>2</sup> )	( 30,715 m <sup>2</sup> )					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	学生の修学環境の見直しを行い、講義室、実験演習室の増、演習室の減(3)。 学生の修学環境の見直しを行い、学修施設を増やした。ただし、語学学習施設は、学内組織の変更により2室減となった。(2)			
	55室 67室 55室 53室	48室 47室 48室	29室 19室	8室 7室 (補助職員 一人)	7室 9室 (補助職員 一人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数		【幼児教育】 自己都合退職者1名分減(2) 新規採用者2名分2室増(3)				
	教育人文学部 幼児教育学科		22 29 24		室				
	教育人文学部 児童教育学科		16		室				
	教育人文学部 心理学科		13		室				
教育人文学部 文芸文化学科		14 12 13		室		【文芸文化】 自己都合退職者1名分1室減(3) 定年退職1名、新規採用者3名分2室増(5)			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数	
		冊	種	種					
	大学全体	189,906 [20,970] (175,463 [20,150]) <del>(174,311 [20,118])</del> (172,591 [20,141]) <del>(179,390 [20,333])</del> (181,906 [20,570])	706 [207] (706 [206]) <del>(703 [206])</del> <del>(706 [207])</del>	18 [4] (19 [3]) <del>(20 [4])</del> <del>(18 [4])</del>	4,896 (4,649) <del>(4,582)</del> (4,566) <del>(4,442)</del> (4,416)	15,487 (12,630)	90 (72)		
	計	189,906 [20,970] (175,463 [20,150]) <del>(174,311 [20,118])</del> (172,591 [20,141]) <del>(179,390 [20,333])</del> (181,906 [20,570])	706 [207] (706 [206]) <del>(703 [206])</del> <del>(706 [207])</del>	18 [4] (19 [3]) <del>(20 [4])</del> <del>(18 [4])</del>	4,896 (4,649) <del>(4,582)</del> (4,566) <del>(4,442)</del> (4,416)	15,487 (12,630)	90 (72)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数	大学全体				
	1,930 m <sup>2</sup>		353 391 345	169,935 150,722 146,639	6人掛け閲覧席を個人レベルに変更したため、座席数は減少した(4)				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体			
	3,253 m <sup>2</sup>		該 当 な し 該 当 な し						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体	
		教員1人当り研究費等	170千円	151千円	図書購入費	5,000千円	5,000千円		5,000千円
		共同研究費等	17,000千円	20,000千円	設備購入費	100,000千円	100,000千円		50,000千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	幼児教育学科 児童教育学科 心理学科 文芸文化学科	
		1,350千円	1,260千円	1,260千円	1,260千円	— 千円	— 千円		
		1,330千円	1,240千円	1,240千円	1,240千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	十文字学園女子大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	1	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考					
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度							
人間生活学部	4	350	3年次15	1430	-	0.96	-	0.91	-	令和2	令和2							
健康栄養学科	4	120	3年次5	490	学士(栄養学)	0.90	-	0.88	-	令和2	令和2							
食物栄養学科	4	120	3年次10	500	学士(栄養学)	1.02	-	0.99	-	令和2	令和2							
食品開発学科	4	40	-	160	学士(食品学)	0.83	-	0.82	-	令和2	令和2							
人間福祉学科	4	70	-	280	学士(社会福祉学)	1.03	-	1.00	-	令和2	令和2							
社会福祉・介護福祉コース	4	20	-	-	学士(社会福祉学)	1.25	-	1.21	-	令和2	令和2							
社会福祉・保育コース	4	50	-	-	学士(社会福祉学)	0.95	-	0.91	-	令和2	令和2							
教育人文学部	4	440	3年次5	1770	-	0.94	-	0.90	-	令和2	令和2							
幼児教育学科	4	170	-	680	学士(教育学)	0.79	-	0.76	-	令和2	令和2							
児童教育学科	4	80	-	320	学士(教育学)	0.81	-	0.78	-	令和2	令和2							
心理学科	4	120	-	480	学士(心理学)	1.15	-	1.11	-	令和2	令和2							
文芸文化学科	4	70	3年次5	290	学士(文学)	1.09	-	1.00	-	令和2	令和2							
社会情報デザイン学部	4	130	3年次5	530	-	0.74	-	0.69	-	令和2	令和2	埼玉県新座市菅沢2丁目1番28号						
社会情報デザイン学科	4	130	3年次5	530	学士(社会学)	0.74	-	0.69	-	令和2	令和2							
(旧)人間生活学部	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	平成23		(旧)人間生活学部					
幼児教育学科	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	-	-	平成23		令和2年度より学生募集停止					
児童教育学科	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	-	-	平成23							
人間発達心理学科	4	-	-	-	学士(心理学)	-	-	-	-	-	平成23							
人間福祉学科	4	-	-	-	学士(社会福祉学)	-	-	-	-	-	平成27							
社会福祉・介護福祉コース	4	-	-	-	学士(社会福祉学)	-	-	-	-	-	平成27							
社会福祉・保育コース	4	-	-	-	学士(社会福祉学)	-	-	-	-	-	平成27							
健康栄養学科	4	-	-	-	学士(栄養学)	-	-	-	-	-	平成27							
食物栄養学科	4	-	-	-	学士(栄養学)	-	-	-	-	-	平成23							
文芸文化学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	-	-	-	平成27							
生活情報学科	4	-	-	-	学士(社会情報学)	-	-	-	-	-	平成23							
メディアコミュニケーション学科	4	-	-	-	学士(メディア学)	-	-	-	-	-	平成23							
大学全体	-	920	25	3730	-	-	-	-	-	-	-							

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあつては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。  
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
（様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。）
- ・学部、学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度ACの対象となる学部等については、**必ず下線を引いてください。**
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。  
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「—」としてください。
  - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。**  
また、**0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。**
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (生 年)月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (生 年)月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (生 年)月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (生 年)月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専 教授	マツガ ｼﾝﾀｲ 松永 修一 (55) <令和2年4月> 修士(文学)	入門ゼミナール 人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成 日本語表現Ⅲ 表現技法※ ことばあそび※ 多文化スタディーズ 日本語B 日本語学B 日本語学入門 日本語音声学 多文化共生ワークショップ 基礎演習 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究	専 教授	マツガ ｼﾝﾀｲ 松永 修一 (56) <令和2年4月> 修士(文学)	入門ゼミナール 人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成 日本語表現Ⅲ 表現技法※ ことばあそび※ 多文化スタディーズ 日本語B 日本語学B 日本語学入門 日本語音声学 多文化共生ワークショップ 基礎演習 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究	専 教授	マツガ ｼﾝﾀｲ 松永 修一 (57) <令和2年4月> 修士(文学)	入門ゼミナール 人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成 日本語表現Ⅲ 表現技法※ ことばあそび※ 多文化スタディーズ 日本語B 日本語学B 日本語学入門 日本語音声学 多文化共生ワークショップ 基礎演習 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究 キャリアデザイン入門	専 教授	マツガ ｼﾝﾀｲ 松永 修一 (58) <令和2年4月> 修士(文学)	入門ゼミナール 人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成 日本語表現Ⅲ 表現技法※ ことばあそび※ 多文化スタディーズ 日本語B 日本語学B 日本語学入門 日本語音声学 多文化共生ワークショップ 基礎演習 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究 キャリアデザイン入門 海外語学研修 読書入門ゼミナール	専 教授	マツガ ｼﾝﾀｲ 松永 修一 (59) <令和2年4月> 修士(文学)	入門ゼミナール 人間理解ワークショップ 自主社会活動 キャリアロールモデル研究 企業に学ぶキャリアデザイン プロアクティブ人材育成 日本語表現Ⅲ 表現技法※ ことばあそび※ 多文化スタディーズ 日本語B 日本語学B 日本語学入門 日本語音声学 多文化共生ワークショップ 基礎演習 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究 キャリアデザイン入門 海外語学研修 読書入門ゼミナール	
専 教授	ｺﾝﾄﾞ ｸﾞﾐ 好本 恵 (65) <令和2年4月> 文学士	入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 朗読 読み聞かせ くらしの中のことば 音声表現 基礎演習 文芸文化ゼミⅡ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究	専 教授	ｺﾝﾄﾞ ｸﾞﾐ 好本 恵 (66) <令和2年4月> 文学士	入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 朗読 読み聞かせ くらしの中のことば 音声表現 基礎演習 文芸文化ゼミⅡ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究	専 教授	ｺﾝﾄﾞ ｸﾞﾐ 好本 恵 (67) <令和2年4月> 文学士	入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 朗読 読み聞かせ くらしの中のことば 音声表現 基礎演習 文芸文化ゼミⅡ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究	専 教授	ｺﾝﾄﾞ ｸﾞﾐ 好本 恵 (68) <令和2年4月> 文学士	入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 朗読 読み聞かせ くらしの中のことば 音声表現 基礎演習 文芸文化ゼミⅡ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究	専 教授	ｺﾝﾄﾞ ｸﾞﾐ 好本 恵 (69) <令和2年4月> 文学士	入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 朗読 読み聞かせ くらしの中のことば 音声表現 基礎演習 文芸文化ゼミⅡ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究	
専 准教授	ｲﾅｸﾞ ｶﾝ 石川 敬史 (42) <令和2年4月> 修士(図書館情報学)	入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 書籍空間論 和本の文化※ 図書館の文化 文芸文化ゼミⅡ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究	専 准教授	ｲﾅｸﾞ ｶﾝ 石川 敬史 (43) <令和2年4月> 修士(図書館情報学)	入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 書籍空間論 和本の文化※ 図書館の文化 文芸文化ゼミⅡ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究	専 准教授	ｲﾅｸﾞ ｶﾝ 石川 敬史 (44) <令和2年4月> 修士(図書館情報学)	入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 書籍空間論 和本の文化※ 図書館の文化 文芸文化ゼミⅡ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究 基礎演習	専 准教授	ｲﾅｸﾞ ｶﾝ 石川 敬史 (45) <令和2年4月> 修士(図書館情報学)	入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 書籍空間論 和本の文化※ 図書館の文化 文芸文化ゼミⅡ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究 基礎演習	専 准教授	ｲﾅｸﾞ ｶﾝ 石川 敬史 (46) <令和2年4月> 修士(図書館情報学)	入門ゼミナール 読書入門ゼミナール 書籍空間論 和本の文化※ 図書館の文化 文芸文化ゼミⅡ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究 基礎演習	
専 准教授	ﾌｸｲ ﾏ 落合 真裕 (39) <令和2年4月> 修士(文学)	入門ゼミナール コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会 演劇表現 多文化理解概論 海外文学の名作 比較文化論 世界のファンタジー 多文化社会とユーモア 世界の演劇 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究	専 准教授	ﾌｸｲ ﾏ 落合 真裕 (40) <令和2年4月> 修士(文学)	入門ゼミナール コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会 演劇表現 多文化理解概論 海外文学の名作 比較文化論 世界のファンタジー 多文化社会とユーモア 世界の演劇 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究	専 准教授	ﾌｸｲ ﾏ 落合 真裕 (41) <令和2年4月> 修士(文学)	入門ゼミナール コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会 演劇表現 多文化理解概論 海外文学の名作 比較文化論 世界のファンタジー 多文化社会とユーモア 世界の演劇 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究 基礎演習	専 准教授	ﾌｸｲ ﾏ 落合 真裕 (42) <令和2年4月> 修士(文学)	入門ゼミナール コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会 演劇表現 多文化理解概論 海外文学の名作 比較文化論 世界のファンタジー 多文化社会とユーモア 世界の演劇 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究 基礎演習	専 准教授	ﾌｸｲ ﾏ 落合 真裕 (43) <令和2年4月> 修士(文学)	入門ゼミナール コミュニケーション演習 読書入門ゼミナール グローバル社会 演劇表現 多文化理解概論 海外文学の名作 比較文化論 世界のファンタジー 多文化社会とユーモア 世界の演劇 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究 基礎演習	
専 准教授	ﾎﾉ ﾏｶ 星野 祐子 (41) <令和2年4月> 博士(人文科学)	入門ゼミナール 日本語検定対策講座 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅲ 表現技法※ ことばあそび※ 日本語学入門 日本語学A 日本語学研究A 基礎演習 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究	専 准教授	ﾎﾉ ﾏｶ 星野 祐子 (42) <令和2年4月> 博士(人文科学)	入門ゼミナール 日本語検定対策講座 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅲ 表現技法※ ことばあそび※ 日本語学入門 日本語学A 日本語学研究A 基礎演習 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究 総合科目	専 准教授	ﾎﾉ ﾏｶ 星野 祐子 (43) <令和2年4月> 博士(人文科学)	入門ゼミナール 日本語検定対策講座 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅲ 表現技法※ ことばあそび※ 日本語学入門 日本語学A 日本語学研究A 基礎演習 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究 総合科目 課題解決ゼミナール	専 准教授	ﾎﾉ ﾏｶ 星野 祐子 (44) <令和2年4月> 博士(人文科学)	入門ゼミナール 日本語検定対策講座 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅲ 表現技法※ ことばあそび※ 日本語学入門 日本語学A 日本語学研究A 基礎演習 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究 総合科目 課題解決ゼミナール	専 准教授	ﾎﾉ ﾏｶ 星野 祐子 (45) <令和2年4月> 博士(人文科学)	入門ゼミナール 日本語検定対策講座 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅲ 表現技法※ ことばあそび※ 日本語学入門 日本語学A 日本語学研究A 基礎演習 文芸文化ゼミⅠ 文芸文化テーマ研究ゼミ 卒業研究 総合科目 課題解決ゼミナール キャリアデザイン入門	
専 講師	ｲｸﾞ ﾋﾛｱｷ 福田 朋晃 (46) <令和2年4月> 博士(学術)	総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E(医療・福祉専門) 日本語能力試験対策講座Ⅰ-日本語能力試験対策講座Ⅱ-日本語集団講座(編入)※ 総合日本語Ⅰb 日本語表現技術Ⅲ 日本語研究A(時事Ⅰ) 総合日本語Ⅱb 多文化スタディーズ 日本語音声学 基礎演習 多文化共生ワークショップ	専 講師	ｲｸﾞ ﾋﾛｱｷ 福田 朋晃 (47) <令和2年4月> 博士(学術)	総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E(医療・福祉専門) 日本語能力試験対策講座Ⅰ-日本語能力試験対策講座Ⅱ-日本語集団講座(編入)※ 総合日本語Ⅰb 日本語表現技術Ⅲ 日本語研究A(時事Ⅰ)-総合日本語Ⅱb 多文化スタディーズ 日本語音声学 基礎演習	専 講師	ｲｸﾞ ﾋﾛｱｷ 福田 朋晃 (48) <令和2年4月> 博士(学術)	総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E(医療・福祉専門) 日本語能力試験対策講座Ⅰ-日本語能力試験対策講座Ⅱ-日本語集団講座(編入)※ 総合日本語Ⅰb 日本語表現技術Ⅲ 日本語研究A(時事Ⅰ)-総合日本語Ⅱb 多文化スタディーズ 日本語音声学 基礎演習 多文化共生ワークショップ	専 講師	ｲｸﾞ ﾋﾛｱｷ 福田 朋晃 (49) <令和2年4月> 博士(学術)	総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E(医療・福祉専門) 日本語能力試験対策講座Ⅰ-日本語能力試験対策講座Ⅱ-日本語集団講座(編入)※ 総合日本語Ⅰb 日本語表現技術Ⅲ 日本語研究A(時事Ⅰ)-総合日本語Ⅱb 多文化スタディーズ 日本語音声学 基礎演習 多文化共生ワークショップ				





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名					
兼任 教授		伊ワ リコ 池間 里代子 (58) <令和2年4月> 文学修士	読書入門ゼミナール 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 海外語学研修 中国語試験対策講座	兼任 教授		伊ワ リコ 池間 里代子 (59) <令和2年4月> 文学修士	読書入門ゼミナール 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 海外語学研修 中国語試験対策講座	兼任 教授		伊ワ リコ 池間 里代子 (60) <令和2年4月> 文学修士	読書入門ゼミナール 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 海外語学研修 中国語試験対策講座	兼任 教授		伊ワ リコ 池間 里代子 (61) <令和2年4月> 文学修士	読書入門ゼミナール 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 海外語学研修 中国語試験対策講座	兼任 教授		伊ワ リコ 池間 里代子 (62) <令和2年4月> 文学修士	読書入門ゼミナール 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 海外語学研修 中国語試験対策講座	
				兼任 教授		伊ワ 紗球 石山 龍之 (54) <令和2年4月> 修士(法・心理学)	身体運動Ⅱ 総合科目	兼任 教授		伊ワ 紗球 石山 龍之 (55) <令和2年4月> 修士(法・心理学)	身体運動Ⅱ 総合科目	兼任 教授		伊ワ 紗球 石山 龍之 (56) <令和2年4月> 修士(法・心理学)	身体運動Ⅱ 総合科目	兼任 教授		伊ワ 紗球 石山 龍之 (57) <令和2年4月> 修士(法・心理学)	身体運動Ⅱ 総合科目 読書入門ゼミナール	
													兼任 教授		伊ワ ショ 中井 伸 (56) <令和2年4月> 修士(文学)	読書入門ゼミナール				
													兼任 特任教授		村ノ 紗紗 大石 裕 (67) <令和4年4月> 博士(法学)	読書入門ゼミナール 総合科目 総合ゼミナール				
				兼任 教授		村ノ テヲ 大倉 智也 <令和3年4月> 農学博士	総合科目	兼任 教授		村ノ テヲ 大倉 智也 <令和3年4月> 農学博士	総合科目	兼任 教授		村ノ テヲ 大倉 智也 (59) <令和2年4月> 文学修士	キャリアデザインとライフプラン	兼任 教授		村ノ テヲ 大倉 智也 (60) <令和2年4月> 文学修士	キャリアデザインとライフプラン	
兼任 教授		村ノ テヲ 大友 由紀子 (56) <令和2年4月> 文学修士	キャリアデザインとライフプラン	兼任 教授		村ノ テヲ 大友 由紀子 (57) <令和2年4月> 文学修士	キャリアデザインとライフプラン	兼任 教授		村ノ テヲ 大友 由紀子 (58) <令和2年4月> 文学修士	キャリアデザインとライフプラン	兼任 教授		村ノ テヲ 大友 由紀子 (59) <令和2年4月> 文学修士	キャリアデザインとライフプラン	兼任 教授		村ノ テヲ 大友 由紀子 (60) <令和2年4月> 文学修士	キャリアデザインとライフプラン	
													兼任 教授		村ノ ヒロキ 大山 博幸 (52) <令和4年4月> 修士(教育学)	総合科目	兼任 教授		村ノ ヒロキ 大山 博幸 (53) <令和4年4月> 修士(教育学)	総合科目
													兼任 教授		村ノ 紗紗 柳田 ゆかり (64) <令和5年4月> 教職修士(専門職)	読書入門ゼミナール				
				兼任 教授		村ノ マ 風間 文明 (54) <令和2年4月> 修士(心理学)	自主社会活動	兼任 教授		村ノ マ 風間 文明 (55) <令和2年4月> 修士(心理学)	自主社会活動	兼任 教授		村ノ マ 風間 文明 (56) <令和2年4月> 修士(心理学)	自主社会活動	兼任 教授		村ノ マ 風間 文明 (57) <令和2年4月> 修士(心理学)	自主社会活動	
兼任 教授		村ノ ヒロト 片居木 英人 (56) <令和2年4月> 政治学修士	ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法	兼任 教授		村ノ ヒロト 片居木 英人 (57) <令和2年4月> 政治学修士	ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法	兼任 教授		村ノ ヒロト 片居木 英人 (58) <令和2年4月> 政治学修士	ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法	兼任 教授		村ノ ヒロト 片居木 英人 (59) <令和2年4月> 政治学修士	ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法	兼任 教授		村ノ ヒロト 片居木 英人 (60) <令和2年4月> 政治学修士	ジェンダーリテラシー くらしのなかの日本国憲法	
兼任 教授		村ノ コガ 狩野 浩二 (54) <令和2年4月> 修士(教育学)	読書入門ゼミナール 地域で学ぶ 21世紀型の教育 総合科目	兼任 教授		村ノ コガ 狩野 浩二 (55) <令和2年4月> 修士(教育学)	読書入門ゼミナール 地域で学ぶ 21世紀型の教育 総合科目	兼任 教授		村ノ コガ 狩野 浩二 (56) <令和2年4月> 修士(教育学)	読書入門ゼミナール 地域で学ぶ 21世紀型の教育 総合科目	兼任 教授		村ノ コガ 狩野 浩二 (57) <令和2年4月> 修士(教育学)	読書入門ゼミナール 地域で学ぶ 21世紀型の教育 総合科目 総合ゼミナール	兼任 教授		村ノ コガ 狩野 浩二 (58) <令和2年4月> 修士(教育学)	読書入門ゼミナール 地域で学ぶ 21世紀型の教育 総合科目 総合ゼミナール	
兼任 教授		コウ (紗加) トミ 向後 (田中) 朋美 (53) <令和2年4月> 文学修士	コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンス・リスニング	兼任 教授		コウ (紗加) トミ 向後 (田中) 朋美 (54) <令和2年4月> 文学修士	コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンス・リスニング	兼任 教授		コウ (紗加) トミ 向後 (田中) 朋美 (55) <令和2年4月> 文学修士	コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンス・リスニング	兼任 教授		コウ (紗加) トミ 向後 (田中) 朋美 (56) <令和2年4月> 文学修士	コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンス・リスニング 英語Ⅱa 英語Ⅱb 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b	兼任 教授		コウ (紗加) トミ 向後 (田中) 朋美 (57) <令和2年4月> 文学修士	コミュニケーション演習 英語コミュニケーション応用 アドバンス・リスニング 英語Ⅱa 英語Ⅱb 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	サトウ シノブ 齋藤 忍 (54) <令和3年4月> 教育学修士 人間理解ワークショップ									
兼任	教授	サトウ 77 佐藤 陽 (57) <令和2年4月> 修士(社会福祉学) ポランディア論	兼任	教授	サトウ 77 佐藤 陽 (57) <令和2年4月> 修士(社会福祉学) ポランディア論	兼任	教授	サトウ 77 佐藤 陽 (57) <令和2年4月> 修士(社会福祉学) ポランディア論	兼任	教授	サトウ 77 佐藤 陽 (57) <令和2年4月> 修士(社会福祉学) ポランディア論
兼任	教授	シラ (マツ) コウ 設楽(松尾) 優子 (54) <令和2年4月> 修士(文学) コミュニケーション演習 英語 I a アドバンスト・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座	兼任	教授	シラ (マツ) コウ 設楽(松尾) 優子 (55) <令和2年4月> 修士(文学) コミュニケーション演習 英語 I a アドバンスト・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座 英語 I b アドバンスト・リーディング	兼任	教授	シラ (マツ) コウ 設楽(松尾) 優子 (56) <令和2年4月> 修士(文学) コミュニケーション演習 英語 I a アドバンスト・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座 英語 I b アドバンスト・リーディング	兼任	教授	シラ (マツ) コウ 設楽(松尾) 優子 (57) <令和2年4月> 修士(文学) コミュニケーション演習 英語 I a アドバンスト・リスニング 映画・ドラマ英語 TOEIC対策講座 英語 I b アドバンスト・リーディング
兼任	教授	サキ 30 杉元 葉子 (60) <令和3年4月> 工学修士 課題解決ゼミナール	兼任	教授	サキ 30 杉元 葉子 (61) <令和2年4月> 工学修士 総合科目 課題解決ゼミナール	兼任	教授	サキ 30 杉元 葉子 (62) <令和2年4月> 工学修士 総合科目 課題解決ゼミナール	兼任	教授	サキ 30 杉元 葉子 (63) <令和2年4月> 工学修士 総合科目 課題解決ゼミナール
兼任	教授	スズキ 42 鈴木 康弘 (51) <令和2年4月> 修士(教育学) 身体運動 II	兼任	教授	スズキ 42 鈴木 康弘 (52) <令和2年4月> 修士(教育学) 身体運動 II	兼任	教授	スズキ 42 鈴木 康弘 (53) <令和2年4月> 修士(教育学) 身体運動 II	兼任	教授	スズキ 42 鈴木 康弘 (54) <令和2年4月> 修士(教育学) 身体運動 II
									兼任	特任教授	サキ 30 杉元 葉子 (64) <令和2年4月> 工学修士 総合科目 課題解決ゼミナール
兼任	特任教授	サカキ 和成 高谷 和成 (60) <令和3年4月> 農学士 地域と人間生活	兼任	特任教授	サカキ 和成 高谷 和成 (61) <令和3年4月> 農学士 地域と人間生活	兼任	特任教授	サカキ 和成 高谷 和成 (62) <令和3年4月> 農学士 地域と人間生活	兼任	特任教授	サカキ 和成 高谷 和成 (63) <令和3年4月> 農学士 地域と人間生活
兼任	教授	タナカ 77 田倉 昭 (62) <令和3年4月> 博士(理学) キャリア基礎力 I	兼任	教授	タナカ 77 田倉 昭 (63) <令和3年4月> 博士(理学) キャリア基礎力 I	兼任	教授	タナカ 77 田倉 昭 (64) <令和3年4月> 博士(理学) キャリア基礎力 I			
			兼任	特任教授	タナカ 77 田倉 昭 (57) <令和2年4月> 農学士 コミュニケーション演習 コミュニケーション演習 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション応用 TOEIC対策講座 アドバンスト・リーディング 英語 I a 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b 映画・ドラマ英語	兼任	特任教授	タナカ 77 田倉 昭 (58) <令和2年4月> 農学士 コミュニケーション演習 コミュニケーション演習 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション応用 TOEIC対策講座 アドバンスト・リーディング 英語 I a 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b 映画・ドラマ英語	兼任	特任教授	タナカ 77 田倉 昭 (60) <令和2年4月> 農学士 コミュニケーション演習 英語コミュニケーション基礎a 英語コミュニケーション基礎b 英語コミュニケーション応用 TOEIC対策講座 アドバンスト・リーディング 英語 I a 英語コミュニケーション発展a 英語コミュニケーション発展b 映画・ドラマ英語
兼任	教授	タナカ 30 棚谷 祐一 (57) <令和2年4月> 芸術学修士 読書入門ゼミナール キャリア基礎力 II	兼任	教授	タナカ 30 棚谷 祐一 (58) <令和2年4月> 芸術学修士 読書入門ゼミナール キャリア基礎力 II	兼任	教授	タナカ 30 棚谷 祐一 (59) <令和2年4月> 芸術学修士 読書入門ゼミナール キャリア基礎力 II キャリア基礎力 I	兼任	教授	タナカ 30 棚谷 祐一 (60) <令和2年4月> 芸術学修士 読書入門ゼミナール キャリア基礎力 II キャリア基礎力 I
兼任	教授	タナカ 42 田総 恵子 (62) <令和2年4月> Doctor of Philosophy (米 国) 持続可能な社会	兼任	教授	タナカ 42 田総 恵子 (63) <令和2年4月> Doctor of Philosophy (米 国) 持続可能な社会	兼任	教授	タナカ 42 田総 恵子 (64) <令和2年4月> Doctor of Philosophy (米 国) 持続可能な社会	兼任	教授	タナカ 42 田総 恵子 (61) <令和2年4月> Doctor of Philosophy (米 国) 持続可能な社会



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	マツカ かつ 松岡 敬明 (64) <令和2年4月> 文学士	コミュニケーション演習	兼任	教授	マツカ かつ 松岡 敬明 (65) <令和2年4月> 文学士	コミュニケーション演習	兼任	教授	マツカ かつ 松岡 敬明 (66) <令和2年4月> 文学士	コミュニケーション演習	兼任	教授	マツカ かつ 松岡 敬明 (59) <令和2年4月> 文学士	コミュニケーション演習
兼任	教授	マツト 74 松本 晃子 (55) <令和2年4月> 修士(家政学)	キャリアデザインとライフプラン	兼任	教授	マツト 74 松本 晃子 (56) <令和2年4月> 修士(家政学)	キャリアデザインとライフプラン 総合科目	兼任	教授	マツト 74 松本 晃子 (57) <令和2年4月> 修士(家政学)	キャリアデザインとライフプラン 総合科目	兼任	教授	マツト 74 松本 晃子 (59) <令和2年4月> 修士(家政学)	キャリアデザインとライフプラン 総合科目
兼任	教授	ヤマダ 37 山田 陽子 (64) <令和2年4月> 学校教育修士	人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 子育てと環境	兼任	教授	ヤマダ 37 山田 陽子 (65) <令和2年4月> 学校教育修士	人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 子育てと環境	兼任	教授	ヤマダ 37 山田 陽子 (66) <令和2年4月> 学校教育修士	人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 子育てと環境	兼任	教授	ヤマダ 37 山田 陽子 (68) <令和2年4月> 学校教育修士	人間関係とコミュニケーション 人間理解ワークショップ 子育てと環境
兼任	教授	ヤマト 31 山本 悟 (62) <令和2年4月> 体育学修士	身体運動II	兼任	教授	ヤマト 31 山本 悟 (63) <令和2年4月> 体育学修士	身体運動II	兼任	教授	ヤマト 31 山本 悟 (64) <令和2年4月> 体育学修士	身体運動II	兼任	教授	ヤマト 31 山本 悟 (66) <令和2年4月> 体育学修士	身体運動II
兼任	教授	ヨシダ 16 吉田 亨 (65) <令和2年4月> 保健学博士	地域と人間生活 共生社会入門	兼任	教授	ヨシダ 16 吉田 亨 (66) <令和2年4月> 保健学博士	地域と人間生活 共生社会入門	兼任	教授	ヨシダ 16 吉田 亨 (67) <令和2年4月> 保健学博士	地域と人間生活 共生社会入門	兼任	教授	ヨシダ 16 吉田 亨 (69) <令和2年4月> 保健学博士	地域と人間生活 共生社会入門
兼任	教授	ワシ 24 綿井 雅康 (57) <令和2年4月> 教育学修士	人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期	兼任	教授	ワシ 24 綿井 雅康 (58) <令和2年4月> 教育学修士	人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期	兼任	教授	ワシ 24 綿井 雅康 (59) <令和2年4月> 教育学修士	人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期 キャリアサポート演習 キャリア基礎力I キャリア基礎力II	兼任	教授	ワシ 24 綿井 雅康 (61) <令和2年4月> 教育学修士	人間関係とコミュニケーション 総合科目 自主社会活動 インターンシップ短期 インターンシップ長期 キャリアサポート演習 キャリア基礎力I キャリア基礎力II
兼任	准教授	アノ (コウ) 44 阿部 (神崎) 史 (44) <令和2年4月> 修士(法学)	リーガルリテラシー												
兼任	准教授	アノ 47 綾井 桜子 (47) <令和2年4月> 博士(教育学)	読書入門ゼミナール	兼任	准教授	アノ 48 綾井 桜子 (48) <令和2年4月> 博士(教育学)	読書入門ゼミナール	兼任	准教授	アノ 49 綾井 桜子 (49) <令和2年4月> 博士(教育学)	読書入門ゼミナール				
兼任	准教授	イノ 38 飯村 九林 (38) <令和2年4月> 博士(水産科学)	読書入門ゼミナール 総合科目	兼任	准教授	イノ 39 飯村 九林 (39) <令和2年4月> 博士(水産科学)	読書入門ゼミナール 総合科目	兼任	准教授	イノ 40 飯村 九林 (40) <令和2年4月> 博士(水産科学)	読書入門ゼミナール 総合科目	兼任	准教授	イノ 41 飯村 九林 (41) <令和2年4月> 博士(水産科学)	読書入門ゼミナール 総合科目
兼任	准教授	イノ (イノ) 39 石田 (寺村) 有理 (39) <令和2年4月> 博士(人文科学)	読書入門ゼミナール	兼任	准教授	イノ (イノ) 40 石田 (寺村) 有理 (40) <令和2年4月> 博士(人文科学)	読書入門ゼミナール	兼任	准教授	イノ (イノ) 41 石田 (寺村) 有理 (41) <令和2年4月> 博士(人文科学)	読書入門ゼミナール	兼任	准教授	イノ (イノ) 42 石田 (寺村) 有理 (42) <令和2年4月> 博士(人文科学)	読書入門ゼミナール
兼任	准教授	カノ 44 梶野 涼子 (44) <令和3年4月> 修士(栄養学)	食の科学	兼任	准教授	カノ 45 梶野 涼子 (45) <令和3年4月> 修士(栄養学)	食の科学	兼任	准教授	カノ 47 梶野 涼子 (47) <令和3年4月> 修士(栄養学)	食の科学 読書入門ゼミナール	兼任	准教授	カノ 48 梶野 涼子 (48) <令和3年4月> 修士(栄養学)	食の科学 読書入門ゼミナール
兼任	准教授	カノ 54 加藤 暁子 (54) <令和3年4月> 修士(コミュニケーション学)	課題解決ゼミナール 舞台芸術												



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	ワザハ 7材 渡辺 章夫 (41) <令和3年4月> 博士(農学)	地域と人間生活	兼任	講師	ワザハ 7材 渡辺 章夫 (42) <令和2年4月> 博士(農学)	読書入門ゼミナール	兼任	講師	ワザハ 7材 渡辺 章夫 (43) <令和2年4月> 博士(農学)	地域と人間生活 読書入門ゼミナール	兼任	准教授	ヤマキ ヨコ 山崎 優子 (47) <令和4年4月> 博士(栄養学)	総合科目
兼任	講師	イノ 34 伊藤 義穂 (44) <令和3年4月> 修士(家政学)	読書入門ゼミナール 総合科目	兼任	講師	イノ 34 伊藤 義穂 (45) <令和3年4月> 修士(家政学)	読書入門ゼミナール 総合科目	兼任	講師	イノ 34 伊藤 義穂 (46) <令和3年4月> 修士(家政学)	読書入門ゼミナール 総合科目				
兼任	講師	イノ 34 伊藤 義穂 (45) <令和2年4月> 博士(学術)	総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E(医療・福祉専門) 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ 日本語集中講座(編入)※	兼任	講師	イノ 34 伊藤 義穂 (45) <令和2年4月> 博士(学術)	総合日本語Ⅰa 総合日本語Ⅱa 総合日本語Ⅲa 日本語表現技術Ⅱ 日本語表現技術Ⅳ 日本語研究E(医療・福祉専門) 日本語能力試験対策講座Ⅰ 日本語能力試験対策講座Ⅱ 日本語集中講座(編入)※ 総合日本語Ⅰb 日本語表現技術Ⅲ 日本語研究A(時事Ⅰ)	専 に 変 更							
兼任	講師	カサガ シンペイ 神田 俊平 (32) <令和2年4月> 修士(体育科学)	身体運動Ⅱ	兼任	講師	カサガ シンペイ 神田 俊平 (34) <令和2年4月> 修士(体育科学)	身体運動Ⅱ 読書入門ゼミナール	兼任	講師	カサガ シンペイ 神田 俊平 (35) <令和2年4月> 修士(体育科学)	身体運動Ⅱ 読書入門ゼミナール	兼任	講師	カサガ シンペイ 神田 俊平 (36) <令和2年4月> 修士(体育科学)	身体運動Ⅱ 読書入門ゼミナール
兼任	講師	キウ シヤウコン 仇 暁芸 (35) <令和2年4月> 博士(国際文化)	読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb	兼任	講師	キウ シヤウコン 仇 暁芸 (36) <令和2年4月> 博士(国際文化)	読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 総合科目	兼任	講師	キウ シヤウコン 仇 暁芸 (37) <令和2年4月> 博士(国際文化)	読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 総合科目 英語Ⅱa 英語Ⅱb	兼任	講師	キウ シヤウコン 仇 暁芸 (38) <令和2年4月> 博士(国際文化)	読書入門ゼミナール 中国語Ⅱa 中国語Ⅱb 総合科目 英語Ⅱa 英語Ⅱb 中国語Ⅰa 中国語Ⅰb
兼任	講師	タカガキ ケイ 高田 健人 (34) <令和3年4月> 健康科学(博士)	読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ	兼任	講師	タカガキ ケイ 高田 健人 (34) <令和3年4月> 健康科学(博士)	読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ	兼任	講師	タカガキ ケイ 高田 健人 (35) <令和2年4月> 博士(社会学)	読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ	兼任	講師	タカガキ ケイ 高田 健人 (36) <令和3年4月> 健康科学(博士)	読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ
兼任	講師	タカガキ ケイ 高田 健人 (33) <令和2年4月> 博士(社会学)	読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ	兼任	講師	タカガキ ケイ 高田 健人 (34) <令和2年4月> 博士(社会学)	読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ	兼任	講師	タカガキ ケイ 高田 健人 (35) <令和2年4月> 博士(社会学)	読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ	兼任	講師	タカガキ ケイ 高田 健人 (36) <令和2年4月> 博士(社会学)	読書入門ゼミナール 総合ゼミナール キャリア基礎力Ⅰ
兼任	講師	タカガキ ケイ 高田 健人 (29) <令和3年4月> 修士(家政学)	読書入門ゼミナール	兼任	講師	タカガキ ケイ 高田 健人 (30) <令和3年4月> 修士(家政学)	読書入門ゼミナール	兼任	講師	タカガキ ケイ 高田 健人 (31) <令和3年4月> 修士(家政学)	読書入門ゼミナール	兼任	講師	タカガキ ケイ 高田 健人 (32) <令和3年4月> 修士(家政学)	読書入門ゼミナール









専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名					
兼任	講師	杉本 理枝子 (48) <令和2年4月> 文学修士	杉本 理枝子 (49) <令和2年4月> 文学修士	杉本 理枝子 (50) <令和2年4月> 文学修士	杉本 理枝子 (51) <令和2年4月> 文学修士	杉本 理枝子 (52) <令和2年4月> 文学修士
		英語 I a 英語 I b 英語 II a 英語 II b	英語 I a 英語 I b 英語 II a 英語 II b	英語 I a 英語 I b 英語 II a 英語 II b 映画・ドラマ英語	英語 I a 英語 I b 英語 II a 英語 II b 映画・ドラマ英語	英語 I a 英語 I b 英語 II a 英語 II b 映画・ドラマ英語
兼任	講師	佐藤 典子 (49) <令和2年4月> 体育学士	佐藤 典子 (50) <令和2年4月> 体育学士	佐藤 典子 (51) <令和2年4月> 体育学士	佐藤 典子 (52) <令和2年4月> 体育学士	佐藤 典子 (53) <令和2年4月> 体育学士
		身体運動 II	身体運動 II	身体運動 II	身体運動 II	身体運動 II
				佐藤 伴近 (38) <令和3年4月> Doctor of Philosophy(History)	佐藤 伴近 (39) <令和3年4月> Doctor of Philosophy(History)	佐藤 伴近 (40) <令和3年4月> Doctor of Philosophy(History)
				英語で学ぶ日本文化 英語で伝える日本文化	英語で学ぶ日本文化 英語で伝える日本文化	英語で学ぶ日本文化 英語で伝える日本文化
				佐藤 有貴 (30) <令和3年4月> 修士(文学)	佐藤 有貴 (31) <令和3年4月> 修士(文学)	佐藤 有貴 (32) <令和3年4月> 修士(文学)
				日本語表現 I 日本語表現 II	日本語表現 I 日本語表現 II	日本語表現 I 日本語表現 II
兼任	講師	澤野 次郎 (60) <令和3年4月> 修士(社会デザイン学)	澤野 次郎 (61) <令和3年4月> 修士(社会デザイン学)	澤野 次郎 (62) <令和3年4月> 修士(社会デザイン学)	澤野 次郎 (63) <令和3年4月> 修士(社会デザイン学)	澤野 次郎 (64) <令和3年4月> 修士(社会デザイン学)
		災害と社会	災害と社会	災害と社会	災害と社会	災害と社会
				Sheila Cliffe (59) <令和3年4月> Ph.D(英国)	Sheila Cliffe (60) <令和3年4月> Ph.D(英国)	Sheila Cliffe (61) <令和3年4月> Ph.D(英国)
				植物の文化	植物の文化	植物の文化
兼任	講師	清水 裕明 (36) <令和3年4月> 学士(商学)	清水 裕明 (37) <令和3年4月> 学士(商学)	清水 裕明 (38) <令和3年4月> 学士(商学)	清水 裕明 (40) <令和3年4月> 学士(商学)	清水 裕明 (41) <令和3年4月> 学士(商学)
		身体と表現	身体と表現	身体と表現	身体と表現	身体と表現 ミュージカル研究
兼任	講師	清水 文子 (48) <令和2年4月> 学士(体育学)	清水 文子 (49) <令和2年4月> 学士(体育学)	清水 文子 (50) <令和2年4月> 学士(体育学)	清水 文子 (51) <令和2年4月> 学士(体育学)	清水 文子 (52) <令和2年4月> 学士(体育学)
		身体運動 I 身体運動 II	身体運動 I 身体運動 II	身体運動 I 身体運動 II	身体運動 I 身体運動 II	身体運動 I 身体運動 II
兼任	講師	清水 玲子 (66) <令和3年4月> 音楽学士	清水 玲子 (67) <令和3年4月> 音楽学士	清水 玲子 (68) <令和3年4月> 音楽学士	清水 玲子 (69) <令和3年4月> 音楽学士	清水 玲子 (69) <令和3年4月> 音楽学士
		ミュージカル研究	ミュージカル研究	ミュージカル研究	ミュージカル研究	ミュージカル研究
					下村 奈穂子 (40) <令和4年9月> 博士(学術)	下村 奈穂子 (41) <令和4年9月> 博士(学術)
					生活とデザイン	生活とデザイン
兼任	講師	鈴木 慈子 (68) <令和2年4月> 学士(理学)	鈴木 慈子 (69) <令和2年4月> 学士(理学)			
		実用書道(毛筆) デザイン書道(毛筆)	実用書道(毛筆) デザイン書道(毛筆)			
						岡根 康里恵 (33) <令和5年9月> 修士(探偵文化学)
						アニメ文化論 映像文化論
				高木 まどか (34) <令和4年4月> 博士(文学)	高木 まどか (35) <令和4年4月> 博士(文学)	高木 まどか (35) <令和4年4月> 博士(文学)
				考える日本史	考える日本史	考える日本史









(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

【採用退職新規担当】

- ・ 齋藤 忍教授の退職に伴い、人間理解ワークショップ (R3年度開講) の担当として後任選定中。
- ・ 阿部 史准教授の退職に伴い、リーガルリテラシーの担当として、川口 かしみ講師を採用。
- ・ 加藤 暁子准教授の退職に伴い、課題解決ゼミナール、舞台芸術 (R3年度開講) の担当として後任選定中。
- ・ Mabeoone Laurent講師の退職に伴い、フランス語1a、フランス語1bの担当として、増茂 和男講師を採用。
- ・ 山本 賢二講師の辞退に伴い、中国語1a、中国語1bの担当として、時松 史子講師を採用。
- ・ コマ教追加による身体運動Ⅱの新規担当追加として、石山 隆之教授、蓬郷 尚代講師、仁科 幸講師を採用。
- ・ コマ教追加による総合科目の新規担当追加として、石山 隆之教授、名倉 秀子教授、土井 善晴講師、船曳 建夫講師を採用。
- ・ 風間 文明教授は、綿井 雅康教授のコマ教調整のため新規担当として採用。自主社会活動
- ・ コミュニケーション演習の担当として、竹之内 修特任教授を採用。
- ・ 教育効果充実を図る為、読書入門ゼミナールの担当として、飯村 九林准教授、石田 (今村) 有理解准教授、曾野 麻紀准教授、野田 日出子講師を採用。
- ・ 日本語能力試験対策講座Ⅰ、日本語能力試験対策講座Ⅱの担当として、小笠原 典子講師を採用。福田 朋児講師削除。
- ・ 教育効果充実を図る為、英語1a、英語1bの新規担当追加として、大友 彩子講師、秋山 まき子講師を採用。
- ・ 教育効果充実を図る為、TOEIC対策講座の担当として、秋山 まき子講師が採用。
- ・ 情報処理演習Ⅰの担当として、込江 雅彦講師を採用。名児耶 厚講師を削除。
- ・ 教育効果充実を図る為、女性と健康の新規担当追加として、齋藤 麗子講師を採用。チヨ ヒ講師は削除。
- ・ 朝鮮語1a、朝鮮語1bの担当として、長渡 陽一講師を採用。チヨ ヒ講師は削除。

【複数担当による持ち回り授業による担当変更】

- ・ 石野 榮一教授は、入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・ 小林 実教授は、入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・ sheila Cliffe教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・ 武田 比呂男教授は、入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・ 樋口 一貴教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・ 松永 修一教授は、入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・ 好本 恵教授は、入門ゼミナール、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・ 落合 真裕准教授 コミュニケーション演習、読書入門ゼミナールは、今年度担当なし。演劇表現
- ・ 星野 祐子准教授は、入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・ 山下 悠貴乃講師は、入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・ 安達 一寿教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・ 池間 里代子教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・ 片居木 英人教授は、くらしのなかの日本国憲法 今年度担当なし。
- ・ 設楽 (松尾) 優子教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・ 棚谷 祐一教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・ 角田 真二教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・ 松岡 敬明教授は、コミュニケーション演習 今年度担当なし。
- ・ 綾井 桜子准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・ 加藤 亮介准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・ 川口 英俊准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・ 久保田 葉子准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・ 三藤 あさみ准教授は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・ 見吉 英彦講師は、読書入門ゼミナール 今年度担当なし。
- ・ 安達 宏之講師は、くらしのなかの日本国憲法 今年度本学担当なし。

【科目配当上の都合による変更】

- ・ 赤間 恵都子教授 基礎演習 別教員が担当。新規担当 入門ゼミナール
- ・ 石野 榮一教授 地域で学ぶは、別教員が担当。
- ・ 小林 実教授 新規担当 基礎演習
- ・ sheila Cliffe教授 新規担当 英語1a、アドバンスライティング
- ・ 武田 比呂男教授 新規担当 基礎演習
- ・ 樋口 一貴教授 基礎演習は、別教員が担当。
- ・ 松永 修一教授 基礎演習は、別教員が担当。
- ・ 落合 真裕准教授 演劇表現は、コマ教調整のため今年度未開講。
- ・ 星野 祐子准教授 コマ教追加による新規担当追加 総合科目
- ・ 新嶋 良恵講師 新規担当 グローバル社会、日本語表現Ⅰ、基礎演習
- ・ 山下 悠貴乃講師から福田 朋児講師へ担当変更。日本語表現技術Ⅲ
- ・ 福田 朋児講師から山下 悠貴乃講師へ担当変更。日本語表現技術Ⅱ
- ・ 池間 里代子教授 海外語学研修は、新型コロナウイルス感染症により海外渡航制限のため今年度未開講。
- ・ 狩野 浩二教授 コマ教追加による新規担当追加 総合科目
- ・ 向後 (田中) 朋美教授 英語コミュニケーション応用は、配当調整により、今年度未開講。
- ・ 設楽 (松尾) 優子教授 新規担当 英語1b
- ・ 杉元 葉子教授 コマ教追加による新規担当追加 総合科目
- ・ 星野 敦子教授 コマ教追加による新規担当追加 総合科目
- ・ 松本 晃子教授 コマ教追加による新規担当追加 総合科目
- ・ 綿井 雅康教授 総合科目は、コマ教調整のため、今年度担当なし。
- ・ 福田 朋児講師 新規担当 総合日本語1b
- ・ 神田 俊平講師 新規担当 読書入門ゼミナール
- ・ 仇 暁芸講師 コマ教追加による新規担当追加 総合科目
- ・ 渡辺 章夫講師 新規担当 読書入門ゼミナール
- ・ 加藤 薫講師から福田 朋児講師、山下 悠貴乃へ担当変更 日本語研究A (時事Ⅰ)
- ・ 名児耶 厚講師から込江 雅彦講師へ担当変更 情報処理演習Ⅰ
- ・ 横原 理枝子講師の英語Ⅰ、英語1bは、別教員が担当。
- ・ 谷 洋子講師 新規担当 TOEIC対策講座
- ・ 宮本 正治講師から設楽 (松尾) 優子教授へ担当変更。アドバンスリーディング

【令和3年度】

- ・ 赤間恵都子教授 担当科目として「基礎演習」を追加。科目配当上の理由により「キャリアデザイン入門」、「入門ゼミナール」は今年度担当なし。
- ・ 石野榮一教授 担当科目として「入門ゼミナール」、「キャリアデザイン入門」を追加。科目配当上の理由により「企業に学ぶキャリアデザイン」、「プロアクティブ人材育成」、「基礎演習」は今年度担当なし。
- ・ sheila Cliffe教授 自己都合により退職、専任から非常勤に変更。「着物の文化」は引き続き担当。
- ・ 武田比呂男教授 担当科目として「文芸文化ゼミⅡ」を追加。科目配当上の理由により「文芸文化ゼミⅠ」は今年度担当なし。
- ・ 樋口一貴教授 担当科目として「基礎演習」を追加。科目配当上の理由により「入門ゼミナール」は今年度担当なし。
- ・ 松永修一教授 担当科目として「入門ゼミナール」、「キャリアデザイン入門」を追加。科目配当上の理由により「日本語音声学」は今年度担当なし。
- ・ 好本恵教授 担当科目として「入門ゼミナール」を追加。科目配当上の理由により「基礎演習」は今年度担当なし。
- ・ 石川敬史准教授 担当科目として「基礎演習」を追加。科目配当上の理由により「入門ゼミナール」、「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
- ・ 落合真裕准教授 担当科目として「基礎演習」、「演劇表現」を追加。科目配当上の理由により「入門ゼミナール」は今年度担当なし。
- ・ 星野祐子准教授 担当科目として「入門ゼミナール」、「課題解決ゼミナール」を追加。科目配当上の理由により「日本語検定対策講座」、「日本語検定対策講座」、「日本語表現Ⅰ」、「基礎演習」、「総合科目」は今年度担当なし。
- ・ 新嶋良恵講師 担当科目として「キャリアデザイン入門」を追加。科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」、「日本語表現Ⅱ」、「基礎演習」は今年度担当なし。
- ・ 山下悠貴乃講師 担当科目として「入門ゼミナール」を追加。科目配当上の理由により「総合日本語Ⅱb」、「総合日本語Ⅲb」、「日本語表現技術Ⅰ」、「日本語集中講座 (編入) ※」、「日本語基礎」、「日本語表現技術Ⅱ」は今年度担当なし。
- ・ 飯田路佳教授 担当科目として「地域と人間生活」を追加。
- ・ 池川繁樹教授 科目配当上の理由により「地域と人間生活」は今年度担当なし。
- ・ 池間里代子教授 担当科目として「読書入門ゼミナール」を追加。
- ・ 石山隆之教授 科目配当上の理由により「総合科目」は今年度担当なし。
- ・ 大倉哲也講師 「総合科目」の担当に追加
- ・ 風間文明教授 科目配当上の理由により「自主社会活動」は今年度担当なし。
- ・ 狩野浩二教授 科目配当上の理由により「21世紀型の教育」は今年度担当なし。
- ・ 向後 (田中) 朋美教授 担当科目として「英語コミュニケーション応用」、「英語コミュニケーション基礎a」、「英語コミュニケーション基礎b」を追加



・ 設楽（松尾）優子教授	科目配当上の理由により「アドバンスト・リスニング」は今年度担当なし。 科目配当上の理由により「英語Ⅰa」、「映画・ドラマ英語」、「TOEIC対策講座」、「英語Ⅰb」、「アドバンスト・リーディング応用」は今年度担当なし。
・ 杉元 葉子教授	担当科目として「課題解決ゼミナール」を追加。
・ 田倉昭教授	担当科目として「キャリア基礎力Ⅰ」は今年度担当なし。
・ 竹之内修特任教授	担当科目として「英語コミュニケーション基礎a」、「英語コミュニケーション基礎b」、「英語コミュニケーション応用」を追加。
・ 棚谷祐一教授	担当科目として「キャリア基礎力Ⅰ」を追加。
・ 中山成夫教授	担当科目として「総合科目」を追加。
・ 羽田邦弘教授	担当科目として「課題解決ゼミナール」、「総合科目」、「21世紀型の教育」を追加。
・ 福田仁教授	担当科目として「英語Ⅰa」、「英語Ⅰb」、「ビジネス英語」、「映画・ドラマ英語」を追加。
・ 星野敦子教授	科目配当上の理由により「総合科目」は今年度担当なし。
・ 綿井雅康教授	担当科目として「自主社会活動」を追加。
・ 飯村九林准教授	科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
・ 梶野涼子准教授	担当科目として「読書入門ゼミナール」を追加。
・ 神山真澄准教授	担当科目として「総合科目」、「食の科学」を追加。
・ 曾野麻紀准教授	科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
・ 徳野裕子准教授	担当科目として「地域と人間生活」を追加。
・ 三藤あさみ准教授	担当科目として「読書入門ゼミナール」を追加。
・ 伊藤美穂講師	担当科目として「読書入門ゼミナール」、「総合科目」を追加。
・ 福田朋晃講師	担当科目として「総合日本語Ⅱb」、「多文化スタディーズ」、「日本語音声学」を追加。
・ 神下澄子講師	担当科目として「地域と人間生活」を追加。
・ 鴨田俊平講師	科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
・ 仇曉芸講師	担当科目として「英語Ⅱa」、「英語Ⅱb」を追加。 科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」、「中国語Ⅱa」、「中国語Ⅱb」は今年度担当なし。
・ 高田健人講師	担当科目として「地域と人間生活」を追加。
・ 鳥越信吾講師	科目配当上の理由により「キャリア基礎力Ⅰ」は今年度担当なし。
・ 中岡加奈絵講師	担当科目として「読書入門ゼミナール」を追加。
・ 増田早哉子講師	「人間理解ワークショップ」の担当に追加。
・ 見吉英彦講師	担当科目として「企業に学ぶキャリアデザイン」を追加。
・ 八嶽晶子講師	担当科目として「総合科目（トップアスリートの育成から学ぶ）」を追加。
・ 若葉京良講師	担当科目として「地域と人間生活」を追加。
・ 渡辺章夫講師	担当科目として「地域と人間生活」を追加。科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
・ 渡邊孝枝講師	担当科目として「読書入門ゼミナール」を追加。
・ 菅原沙恵子助教	担当科目として「食の科学」を追加。
・ 秋山まき子講師	科目配当上の理由により「英語Ⅰa」、「TOEIC対策講座」は今年度担当なし。
・ 東聖子講師	科目配当上の理由により「日本文学史B」、「児童文学」、「芸術と歴史」は今年度担当なし。
・ 荒井（田中）あさ香講師	「日本語研究A（時事Ⅰ）」の担当に追加。
・ 生田慶穂講師	科目配当上の理由により「衣食住の文化」は今年度担当なし。
・ 池辺早良講師	「英語Ⅰa」、「TOEIC対策講座」の担当に追加。
・ 臼井直也講師	「日本語表現技術Ⅰ」、「日本語表現技術Ⅱ」の担当に追加。
・ 宇野和講師	「日本語検定対策講座」の担当に追加。
・ 大友彩子講師	「アドバンスト・リスニング」の担当に追加。
・ 加藤咲子講師	「舞台芸術」の担当に追加。
・ 甲斐由起子講師	「芸術と歴史」の担当に追加。
・ 藤原隆基講師	「芸能の世界」の担当に追加。
・ 込江雅彦講師	科目配当上の理由により「情報処理演習Ⅰ」は今年度担当なし。
・ 榊原理枝子講師	担当科目として「映画・ドラマ英語」を追加。 科目配当上の理由により「英語Ⅰa」、「英語Ⅰb」、「英語Ⅱa」、「英語Ⅱb」は今年度担当なし。
・ 佐藤伴近講師	「英語で学ぶ日本文化」、「英語で伝える日本文化」の担当に追加。
・ 佐藤有貴講師	「日本語表現Ⅰ」、「日本語表現Ⅱ」の担当に追加。
・ 鈴木慈子講師	辞任により穂苅真里子講師に変更。
・ 利幸講師	科目配当上の理由により「身体運動Ⅱ」は今年度担当なし。
・ 深澤瞳講師	「日本語検定対策講座」、「日本語表現Ⅱ」の担当に追加。
・ 穂苅真里子講師	「実用書道（毛筆）」、「デザイン書道（毛筆）」の担当に追加。
・ 松尾夏海講師	「アドバンスト・ライティング」の担当に追加。
・ 溝部優実子講師	「児童文学」の担当に追加。
・ 村上寛光講師	「アニメ文化論」の担当に追加。
・ 森咲子講師	「日本文学史B」、「衣食住の文化」の担当に追加。
・ 山岡華菜子講師	「日本語表現技術Ⅲ」の担当に追加。

#### 【令和4年度】

・ 赤間恵都子教授	担当科目として「文芸文化テーマ研究ゼミ」を追加。
・ 石野榮一教授	担当科目として「基礎演習」を追加。科目配当上の理由により「入門ゼミナール」は今年度担当なし。
・ 小林実教授	担当科目として「入門ゼミナール」を追加。科目配当上の理由により「基礎演習」は今年度担当なし。
・ 武田比呂男教授	担当科目として「入門ゼミナール」を追加。
・ 樋口一貴教授	担当科目として「入門ゼミナール」を追加。科目配当上の理由により「基礎演習」は今年度担当なし。
・ 松永修一教授	担当科目として「海外語学研修」「読書入門ゼミナール」を追加。科目配当上の理由により「入門ゼミナール」は今年度担当なし。
・ 落合真裕准教授	担当科目として「入門ゼミナール」を追加。科目配当上の理由により「基礎演習」は今年度担当なし。
・ 星野祐子准教授	担当科目として「基礎演習」を追加。科目配当上の理由により「入門ゼミナール」は今年度担当なし。
・ 福田朋晃講師	担当科目として「基礎演習」を追加。科目配当上の理由により「総合日本語Ⅲa」「総合日本語Ⅰb」「日本語表現技術Ⅲ」「日本語研究A（時事Ⅰ）」は今年度担当なし。
・ 新嶋良恵講師	科目配当上の理由により「入門ゼミナール」は今年度担当なし。
・ 山下悠貴乃講師	担当科目として「日本語集中講座（編入）」を追加。科目配当上の理由により「文芸文化テーマ研究ゼミ」は今年度担当なし。
・ 安達一寿教授	科目配当上の理由により「総合ゼミナール」「キャリアサポート演習」は本年度担当なし。「総合科目」の担当を追加。
・ 池間里代子教授	「中国語試験対策講座」は担当者変更により削除。科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は本年度担当なし。
・ 石山隆之講師	担当科目として「総合科目」を追加。
・ 大倉哲也教授	科目配当上の理由により「総合科目」は今年度担当なし。
・ 大山博幸教授	「総合科目」の担当を追加。
・ 狩野浩二教授	科目配当上の理由により「総合科目」は今年度担当なし。「総合ゼミナール」の担当を追加。
・ 向後朋美教授	「英語Ⅱa」「英語Ⅱb」「英語コミュニケーション発展a」「英語コミュニケーション発展b」の担当を追加。
・ 杉元葉子教授	科目配当上の理由により「総合科目」は本年度担当なし。
・ 高谷和成教授	科目配当上の理由により「地域と人間生活」は本年度担当なし。
・ 田倉昭教授	定年により退職。担当科目は別教員が担当。
・ 竹之内修教授	TOEIC対策講座「アドバンスト・リーディング」「英語Ⅰa」「英語コミュニケーション発展a」「英語コミュニケーション発展b」の担当を追加。
・ 棚谷祐一教授	科目配当上の理由により「キャリア基礎力Ⅰ」「キャリア基礎力Ⅱ」は本年度担当なし。
・ 田総恵子教授	定年により退職。兼任に身分変更。
・ 辻典子教授	「地域と人間生活」の担当を追加。
・ 中村禎子教授	「地域と人間生活」の担当を追加。
・ 中山成夫教授	科目配当上の理由により「総合科目」は本年度担当なし。
・ 名倉秀子教授	「キャリアサポート演習」「キャリア基礎力Ⅰ」「キャリア基礎力Ⅱ」を追加。
・ 成谷宏文教授	「地域と人間生活」の担当を追加。
・ 羽田邦弘教授	「総合ゼミナール」を追加。
・ 平田智秋教授	特別研修（海外）のため、本年度の担当科目は他教員が担当。
・ 福田仁教授	定年により退職。担当科目は別教員が担当。
・ 布施晴美教授	死亡により退職。担当科目は別教員が担当。
・ 星野敦子教授	「総合科目」を追加。
・ 松岡敬明教授	定年により退職。担当科目は別教員が担当。
・ 松本晃子教授	科目配当上の理由により「総合科目」は本年度担当なし。
・ 綿井雅康教授	科目配当上の理由により「総合科目」は本年度担当なし。
・ 綿井櫻子准教授	自己都合により退職。担当科目は別教員が担当。
・ 飯村九林准教授	科目配当上の理由により「総合科目」は本年度担当なし。
・ 石田有理解准教授	科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
・ 梶野涼子准教授	科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は今年度担当なし。
・ 川口英俊准教授	「読書入門ゼミナール」を追加。
・ 鈴木雅子准教授	「女性の心と身体」の担当を追加。



・ 人見優子准教授	「読書入門ゼミナール」の担当を追加。
・ 山崎優子准教授	「総合科目」の担当を追加。
・ 伊藤美穂講師	科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」「総合科目」は今年度担当なし。
・ 鴨下澄子講師	「読書入門ゼミナール」の担当を追加。
・ 仇咲芸講師	産休・育休により、本年度の担当科目は他教員が担当。
・ 武田瑞穂講師	「読書入門ゼミナール」の担当を追加。
・ 鳥越信吾講師	科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は本年度担当なし。
・ 中岡加奈絵講師	科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は本年度担当なし。
・ 野田日出子講師	科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は本年度担当なし。
・ 水島ゆめ講師	「読書入門ゼミナール」の担当を追加。
・ 八嶽晶子講師	「身体運動Ⅱ」の担当を追加。
・ 矢野景子講師	「総合科目」の担当を追加。
・ 渡辺章夫講師	科目配当上の理由により「地域と人間生活」は本年度担当なし。
・ 渡邊孝枝講師	科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は本年度担当なし。
・ 倉若美咲樹助教	科目配当上の理由により「地域と人間生活」は本年度担当なし。「読書入門ゼミナール」の担当を追加。
・ 菅原沙恵子助教	「総合科目」「読書入門ゼミナール」の担当を追加。
・ 池辺早良講師	科目配当上の理由により「TOEIC対策講座」は本年度担当なし。「英語Ⅰb」の担当を追加。
・ 石黒教子講師	辞任により、西野直樹講師に変更。
・ 市川ゆりえ講師	「インターネット英語」「ビジネス英語」「映画・ドラマ英語」の担当を追加。
・ 稲葉美樹講師	「日本語基礎」の担当を追加。
・ 大石裕講師	「読書入門ゼミナール」「総合科目」の担当を追加。
・ 加藤薫講師	「日本語表現技術Ⅲ」を追加。
・ 川口かすみ講師	辞任により児玉谷レミ講師に変更。
・ 児玉谷レミ講師	「リーガルリテラシー」の担当を追加。
・ 込江雅彦講師	自己都合により退職。担当科目は別教員が担当。
・ 下村奈穂子講師	「生活とデザイン」の担当を追加。
・ 高木まどか講師	「考える日本史」の担当を追加。
・ 高橋康浩講師	「漢詩・漢文に親しむ」の担当を追加。
・ 田中正樹講師	辞任により、高橋康浩講師に変更。
・ 西野直樹講師	「デジタルアート入門」の担当を追加。
・ 日暮康晴講師	「総合日本語Ⅲa」「総合日本語Ⅲb」の担当を追加。
・ 松本彰之講師	「身体運動Ⅱ」の担当を追加。
・ 三角成彦講師	「TOEIC対策講座」「アドバンスト・リスニング」の担当を追加。
・ 三野(巻島)行徳講師	辞任により、高木まどか講師に変更。
・ 宮崎順子講師	辞任により、市川ゆりえ講師に変更。
・ 山岡華菜子講師	辞任により、加藤薫講師に変更。
・ 山口雪江講師	「中国語Ⅰa」「中国語Ⅰb」「中国語試験対策講座」の担当を追加。
・ 吉田守孝講師	辞任により、下村奈穂子講師に変更。

【令和5年度】

・ 赤間恵都子教授	定年により退職、兼任講師へ。担当科目は他教員が担当。「卒業研究」の担当を追加。
・ 石野榮一教授	「入門ゼミナール」の担当を追加。科目配当上の理由により「基礎演習」「文芸文化テーマ研究ゼミ」は本年度担当なし。
・ 武田比呂男教授	科目配当上の理由により「入門ゼミナール」「日本語表現Ⅱ」は本年度担当なし。
・ 樋口一貴教授	「基礎演習」の担当を追加。科目配当上の理由により「入門ゼミナール」「芸術を読みとる」は本年度担当なし。
・ 松永修一教授	「入門ゼミナール」の担当を追加。科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は本年度担当なし。
・ 好本恵教授	「基礎演習」の担当を追加。科目配当上の理由により「入門ゼミナール」「文芸文化テーマ研究ゼミ」は本年度担当なし。
・ 石川敬史准教授	「入門ゼミナール」の担当を追加。科目配当上の理由により「基礎演習」は本年度担当なし。
・ 落合真裕准教授	「基礎演習」の担当を追加。科目配当上の理由により「入門ゼミナール」は本年度担当なし。
・ 星野祐子准教授	「入門ゼミナール」「キャリアデザイン入門」の担当を追加。科目配当上の理由により「基礎演習」は本年度担当なし。
・ 稲田朋晃講師	「多文化共生ワークショップ」の担当を追加。
・ 高橋秀子講師	科目配当上の理由により「総合日本語Ⅰa」「日本語表現技術Ⅳ」「日本語研究E(医療・福祉専門)」「基礎演習」は本年度担当なし。
・ 新嶋良恵講師	「入門ゼミナール」「日本語基礎」「日本語表現Ⅲ」「日本文学概論」「日本文学論A」「日本文学研究A」「文芸文化ゼミⅠ」
・ 森暁子講師	「文芸文化テーマ研究ゼミ」の担当を追加。
・ 山下悠貴乃講師	「基礎演習」「企業に学ぶキャリアデザイン」の担当を追加。科目配当上の理由により「日本語基礎」「キャリアデザイン入門」は本年度担当なし。
・ 池川繁樹教授	「入門ゼミナール」「読書入門ゼミナール」「芸術を読みとる」「日本語表現Ⅱ」「基礎演習」「文芸文化ゼミⅡ」
・ 石山隆之教授	「文芸文化テーマ研究ゼミ」の担当を追加。
・ 大倉哲也教授	科目配当上の理由により「入門ゼミナール」「総合日本語Ⅰb」「日本語集中講座(編入)」「日本語表現Ⅰ」「多文化社会とコミュニケーション」
・ 大山博幸教授	「多文化共生ワークショップ」「文芸文化ゼミⅠ」「卒業研究」は本年度担当なし。
・ 狩野浩二教授	定年により退職。担当科目は他教員が担当。
・ 狩野(松尾)優子教授	「読書入門ゼミナール」の担当を追加。
・ 高谷和成特任教授	自己都合により退職。担当科目は他教員が担当。
・ 竹之内修特任教授	科目配当上の理由により「総合科目」は本年度担当なし。
・ 辻典子教授	「総合科目」の担当を追加。
・ 中禎子教授	「映画・ドラマ英語」の担当を追加。科目配当上の理由により「アドバンスト・リスニング」は本年度担当なし。
・ 中山成夫教授	「地域と人間生活」「読書入門ゼミナール」の担当を追加。
・ 谷宏文教授	「映画・ドラマ英語」の担当を追加。
・ 羽田邦弘教授	「食の科学」の担当を追加。科目配当上の理由により「地域と人間生活」は本年度担当なし。
・ 平田智秋教授	科目配当上の理由により「地域と人間生活」は本年度担当なし。
・ 星野敦子教授	定年により退職。担当科目は他教員が担当。
・ 梶野涼子准教授	科目配当上の理由により「食の科学」は本年度担当なし。
・ 鈴木雅子准教授	科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は本年度担当なし。
・ 人見優子准教授	科目配当上の理由により「総合科目」は本年度担当なし。
・ 山崎優子准教授	科目配当上の理由により「総合科目」は本年度担当なし。
・ 渡辺章夫准教授	講師から職位変更。「地域と人間生活」の担当を追加。
・ 鴨下澄子講師	「食の科学」の担当を追加。科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は本年度担当なし。
・ 武田瑞穂講師	「中国語Ⅱa」「中国語Ⅱb」「中国語Ⅰa」「中国語Ⅰb」の担当を追加。
・ 水島ゆめ講師	科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は本年度担当なし。
・ 八嶽晶子講師	科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は本年度担当なし。
・ 矢野景子講師	「読書入門ゼミナール」の担当を追加。科目配当上の理由により「総合科目」「身体運動Ⅱ」は本年度担当なし。
・ 倉若美咲樹助教	科目配当上の理由により「総合科目」は本年度担当なし。
・ 菅原沙恵子助教	「地域と人間生活」の担当を追加。科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は本年度担当なし。
・ 荒井(田中)あさ香講師	科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」は本年度担当なし。
・ 市川(渡辺)ゆりえ講師	「総合日本語Ⅰa」「総合日本語Ⅰb」の担当を追加。
・ 江藤茂博講師	科目配当上の理由により「映画・ドラマ英語」は本年度担当なし。
・ 大石裕特任教授	辞任により関根麻里恵講師に交代。
・ 甲斐由起子講師	職位変更により兼任特任教授へ。「総合ゼミナール」の担当を追加。科目配当上の理由により「読書入門ゼミナール」「総合科目」は本年度担当なし。
・ 加藤薫講師	辞任により森直樹講師に交代。
・ 梶原理枝子講師	「日本語表現技術Ⅳ」の担当を追加。
・ 清水裕明講師	科目配当上の理由により「映画・ドラマ英語」は本年度担当なし。
・ 清水玲子講師	「ミュージカル研究」の担当を追加。
・ 関根麻里恵講師	辞任により、担当科目は他教員が担当。
・ 中嶋洋子講師	「アニメ文化論」「映像文化論」の担当を追加。
・ 時松史子講師	谷洋子から氏名変更。「ビジネス英語」の担当を追加。科目配当上の理由により「アドバンスト・リーディング」は本年度担当なし。
・ 中島紀子講師	辞任により、担当科目は他教員が担当。
・ 中田(仲戸川)麻理講師	辞任により、担当科目は他教員が担当。
・ 増茂和男講師	「フランス語Ⅰa」「フランス語Ⅰb」の担当を追加。
・ 松本彰之講師	辞任により中田(仲戸川)麻理講師に交代。
・ 三角成彦講師	辞任により、担当科目は他教員が担当。
・ 村上寛光講師	「アドバンスト・ライティング」の担当を追加。科目配当上の理由により「TOEIC対策講座」は本年度担当なし。
・ 森暁子講師	辞任により、担当科目は他教員が担当。
	「入門ゼミナール」「読書入門ゼミナール」「芸術を読みとる」「日本語表現Ⅱ」「基礎演習」「文芸文化ゼミⅡ」
	「文芸文化テーマ研究ゼミ」の担当を追加。

- ・ 森正樹講師 「芸術と歴史」の担当を追加。
- ・ 安恒佳代子講師 「日本語研究E（医療・福祉専門）」 「日本語研究F（人文科学）」の担当を追加。

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
	6
6	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。  
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
6	3	2	0	12	0	6	3	5	1	15	0
(8)	(3)	(2)	(0)	(13)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
6	3	5	1	15	0	6	3	5	1	15	0
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 3 ]	[ 1 ]	[ 3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 3 ]	[ 1 ]	[ 3 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{12} = \boxed{125} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{15} = \boxed{6.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	シーラ・クリフ	R3.3	必修	入門ゼミナール	①	R3.3.31付け自己都合のため辞任(3)			
				選択	英語コミュニケーション基礎a	②				
				選択	英語コミュニケーション基礎b	②				
				選択	英語コミュニケーション発展a	③				
				選択	英語コミュニケーション発展b	③				
				選択	ビジネス英語	①				
				選択	着物の文化	②				
				選択	英語で学ぶ日本文化	①				
				選択	英語で伝える日本文化	①				
				必修	文芸文化ゼミⅡ	①				
				選択	英語Ⅰa	②				
選択	アドバンスト・ライティング	②								
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	2	科目	選択	6	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	4	科目	計	6	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1 人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	10 科目	選択	2 科目	選択	6 科目	選択	2 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	12 科目	計	4 科目	計	6 科目	計	2 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{12} = \boxed{8.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	教授	赤間 恵都子	必修	日本語表現Ⅲ	①	R5. 3. 31付け65歳で定年退職 (5)		
			選択	和本の文化	②			
			必修	日本文学概論	①			
			選択	日本文学史A	①			
			選択	日本文学論A	①			
			選択	日本文学研究A	①			
			選択	日本文学の名作	②			
			必修	基礎演習	①			
			必修	文芸文化ゼミⅡ	①			
			必修	文芸文化テーマ研究ゼミ	②			
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1 人	必修	5 科目	必修	4 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
	選択	5 科目	選択	3 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	10 科目	計	7 科目	計	3 科目	計	0 科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職に対しては後任の専任教員の充当、他の専任教員の配当若しくは兼任講師の採用により、教育課程の進行に支障が無いよう配慮している。  
 学生に対しては、新総合教育システム(ユニバーサルパスポート)に「時間割・担当変更一覧」を掲載し、周知している。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (平成31年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和2年度)	入学者選抜の適切な実施等を通じ、入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善) 適切な入学者数とするため、実績等から各入試の募集定員を定めているが、令和2年度は新型コロナウイルスが蔓延し始めた状況下での入試ということもあり、歩留まりが読み切れず定員超過となってしまった。 令和3年度入試は、超過是正を念頭に置き取り組んだ結果、定員70名に対し入学者82名、定員超過率は1.17となった。(4)(5)	履行中 令和3年度単年度では定員超過率を改善できたが、入学定員の平均超過率は1.3となっており、次年度以降も継続した管理を行う必要がある。 令和4年度入試に向けても、適切な入学者数を目指し、継続して定員管理に努める。(4)(5)
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度)	入学者選抜の適切な実施等を通じ、入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善) 令和3年度単年度の入試においては超過率を抑えることができたが、平均超過率の観点では、改善が必要であった。 令和4年度入試においても、平均超過率の是正を念頭に置き、各入試区分の定員管理に努めた結果、定員70名に対し入学者70名、平均超過率は1.2となり、改善を図ることができた。(4)(5)	履行済 令和3年度入試、令和4年度入試と着実に入学定員の改善を図ることができた。引き続き、継続した管理を行うことにより、適切な入学者数を確保していくことに努める。(4)(5)
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

**【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

**【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)(5)」と記載してください。

**【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。



## 7 その他全般的事項

### <教育人文学部 文芸文化学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

十文字学園女子大学全学委員会通則規程（別添資料1）に定められた全学委員会として、全学FD委員会を設置している。

全学FD委員会の構成は、委員長は学長または学長が指名する教職員とし、(1)学長、(2)専任教員2名、(3)大学院のFD委員会において選出された者1名、(4)その他委員長が必要と認めた者で構成しているが、活動の活性化及び各教員の理解を深めるため、(2)及び(3)の選出については各学科から1名を選出している。

令和4年度は児童教育学科の教員が委員長を務め、事務局の担当者を含め計16名（教員12名、職員4名）で運営された。

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和4年度は全6回開催した。

第1回	令和4年6月9日（木）	教員出席者	12人
第2回	令和4年7月14日（木）	教員出席者	11人
第3回	令和4年9月8日（木）	教員出席者	9人
第4回	令和4年11月10日（木）	教員出席者	12人
第5回	令和5年12月23日（金）	教員出席者	12人（メール開催）
第6回	令和5年3月10日（金）	教員出席者	9人

###### c 委員会の審議事項等

十文字学園女子大学全学委員会通則規程により、全学FD委員会は次の事項を審議し、必要な事項を処理している。

- (1) FDに係る研修会等の実施に関する事項
- (2) 大学、大学院が行うFDに係る活動の連絡・調整に関する事項
- (3) 授業評価等FDに係る調査、研究に関する事項
- (4) その他本学のFDに関する事項

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

全学FD委員会が令和4年度に実施したFD活動は以下の通り。

- (1) 授業アンケート
- (2) 授業に関する学生・教員交流会
- (3) 授業公開
- (4) 研修会
- (5) FD報告書の作成

## b 実施方法

### (1) 授業アンケート

回答期間 前期：7/9(土)～8/12(金)、後期：12/10(土)～2/3(金)  
総合教育システム（UNIPA）内で学生による授業アンケートを実施した。

### (2) 授業に関する学生・教員交流会

令和4年2月24日（水）実施  
学科ごとに学生を選出し、学科横断でFD委員を中心とする教員との交流会を開催した。

### (3) 授業公開

期間：令和4年11月28日（月）～12月10日（土）  
対象：学内教職員  
原則、後期に開講した全ての授業について、授業公開を行った。

### (4) 研修会

- ・高等学校指導要領改訂の狙いについて 令和4年12月15日（木）16：30～（Zoomライブ配信）
- ・ルーブリック講習会 令和5年1月11日（水）16：20～17：50

### (5) FD報告書の作成

令和5年に「令和4年度FD報告書」を本学HP上に公表する。

## c 開催状況（教員の参加状況含む）

### (1) 授業アンケート

授業内で教員からアンケート実施の周知を行い、学生は各自総合教育システム（UNIPA）にアクセスし回答した。  
アンケートの自由記述に対しては教員がコメントを付し、学内ネットワークに公開している。

### (2) 授業に関する学生・教員交流会

選出された学生16名と、FD委員を含む教員8名が参加し、テーマ「これからの時代の授業の在り方を考えようーオンライン・ハイブリッド・対面授業を経験してー」に沿って対面で意見交換を行った。

### (3) 授業公開

のべ参加者：80名  
参加者による見学記録をもとに授業実施教員にフィードバックしている。

### (4) 研修会

- ・高等学校指導要領改訂の狙いについて 参加者：218名（教員143名、職員75名）  
高校での探求学修の開始など、高校現場での学びの現状に関する内容。
- ・ルーブリック講習会 参加者：15名  
前年度に引き続き、具体的な科目別ルーブリック策定を支援する内容。

### (5) FD報告書の作成

令和5年に「令和4年度FD報告書」を本学HP上に公表する。

## d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学では、授業の質的改善・向上を目的として、継続的に「学生による授業アンケート」を実施しており、その結果は、学内ネットワーク上で公開し学生にフィードバックしている。アンケート結果に対するコメントや自由記述に対して回答することにより、各教員が今後の改善点を明らかにしている。

また、FD委員会が研修会を企画し、最新の知見や具体的実践について紹介するなど、授業改善への働きかけを行っている。

平成23年度より、全学委員会通則規程に基づき設置された教員評価委員会のもと、教員評価規程（別添資料2）に則って、教育、研究、社会活動、学務の4領域を対象として教員評価を実施している。各教員の個人努力を喚起し、授業改善はもとより、教員の資質の維持向上を図るよう取り組んでいる。

## ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a 実施の有無及び実施時期

前述の通り

### b 教員や学生への公開状況、方法等

前述の通り

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）



### (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

### (4) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、継続的に教育体制改革を行っており、今回の改組は第三次教育体制改革として、第一次及び第二次の成果を踏まえつつ、①学部体制の改編、②新たな教育課程を修了し卒業した学生が、社会のなかで生涯にわたり活躍していくことを想定した教育内容の構築、③既存学科の強化及び本学の伝統を活かしつつ学生募集において可能性のある新たな領域（学科）の立ち上げ、④適切な定員設定、について検討を重ねてきた。学部体制については、本学が培ってきた教育研究上の領域をより明確にし、かつ、地域社会における諸課題の探求と解決に向けて、人々との連携や多職種での協働を基盤としつつ、それぞれが培ってきた専門性を発揮しうる人材を養成するために、より有効な体制と判断し、3学部へ再編成することを決定した。そして、令和2年度に①1学部体制を3学部体制（人間生活学部、教育人文学部、社会情報デザイン学部）へ再編成する、②入学定員を適正に設定変更する、③食の領域での発展拡大のために食品開発学科を新設する、④生活情報学科とメディアコミュニケーション学科を発展的に解消して、社会学を基盤とした社会情報デザイン学科を設置する、こととして、平成31年4月に届出を行い、令和2年4月にスタートを切った。

入学生確保については、令和2年度入試においては、新たな学部学科体制のPRと定員設定の見直しに成果が出て、旧体制下において定員割れが続いていた学科についても充足する運びとなった。ただ、文芸文化学科及び社会情報デザイン学科については歩留まりの読み違いから入学定員超過率が1.3を超えてしまった。令和3年度入試においては、超過是正を念頭におきつつ、入試選抜に取り組んだが、心理学科が歩留まりの読み違いから入学定員超過率が1.3を超えた。一方で、食品開発学科、幼児教育学科、児童教育学科、社会情報デザイン学科の4学科で定員割れとなった。令和4年度入試では、全学科における適正な入学定員の確保を目指して取り組み、入学定員超過は是正できたが、健康栄養学科、幼児教育学科、児童教育学科、社会情報デザイン学科の4学科で定員割れとなってしまった。完成年度となる令和5年度入試においては、引き続き、募集・広報戦略の見直しを行い入学定員確保を目指して取り組んだが、全学科で定員割れとなった。このことから、入学定員の見直しも必要であると考え、5月30日に、幼児教育学科、児童教育学科、心理学科、社会情報デザイン学科の定員変更の届出を行ったところである。

教育課程については完成年度を迎え、令和6年度からの次のサイクルに向けて改組後4年間の検証を行い、科目の在り方等についての見直しを行うとともに、学生の成長や満足度を保証する教育体制の構築と特色ある教育のための改善策について、検討を行っている。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・令和5年11月までに公表予定。

##### b 公表方法

自己点検・評価委員会の編纂による報告書を毎年作成しており、大学ホームページ上に公開予定。

#### ③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年に日本高等教育評価機構の機関別認証評価を受審し、適合認定を得た。評価結果は大学ホームページ上で公開。
- ・次回は、令和9～10年に同機構において受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・ 無 ]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） ]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。